

廣 島 縣

三百九十二

安 佐 郡

- 一 長束村字操穴ノ排水ヲ爲スニ當リ幅壹間長十間許ノ溝ニ對シ慣習上米一石三斗ヲ支拂フ實例アリ
- 二 同村字松田水道排水幅六尺長サ百二十尺ニ對シ米二石六斗九升五合一勺ヲ支拂フ實例アリ

豐 田 郡

- 三 下北方村芳沖ノ排水ヲナス爲ニ地積三十三町六反畝步ニツキ一ケ年百九十一圓三十二錢ヲ支拂フモノアリ

蘆 品 郡

- 四 甲第一項四六參照
- 五 同上四九參照

高 知 縣

- 一 吾川郡弘岡上ノ村ニ於テ排水路敷地代トシテ地積一反一畝步ニ對シ水路一坪ニツキ米二升ヲ支拂フ慣習アリ

佐 賀 縣

- 一 神埼郡三田川村大字田手字衣村ニ於ケル田地(面積一町五反)ハ其周圍ノ田地地盤高ク排水路ノ水位亦田面ヨリ高キ爲其排水ニ苦ミ結局伊保戸ノ土地ニ一條ノ水路ヲ掘鑿シテ之ニ依リテ排水スルコト、セリ而シテ之ノ土地使用ノ爲毎年米二斗ヲ支拂フコト、ナレリ

第二 排水ノ方法ニ關スル慣習ニシテ適當ナリト認ムル實例

埼 玉 縣

- 一 北埼玉郡種足村ニ存スル用排水路ノ方法不適當ナル爲メ去ル明治四十一、二年頃ヨリ全村其地主及耕作者申合セ其部落耕地ノ地域ニ應シ私設ノ用排水路ヲ開鑿シ用水時期ハ稍完全ニ給水ヲナシ猶秋季ハ排水ヲ全カラシメ以前ハ大ニ濕田タリシ田地モ該排水路開鑿以來大ニ乾田ト化シ稻作ノ刈取ニ大ニ手數ヲ省キ且便宜ヲ得且又耕地ノ大部分ハ紫雲英ノ栽培ヲ見ルニ到レリ
- 二 甲第二項四參照

靜 岡 縣

- 一 安倍郡大里村下島川口ハ波浪ノ爲メ土砂堆積シ其結果耕地ニ湛水シタルトキハ全字無償ニテ河口

三百九十三

ノ浚渫ニ從事スルヲ慣例トセリ如斯事年四五回ニ及フコトアリ

長野縣

一 甲第二項一〇參照

岡山縣

一 都窪郡六間川ニ設置セラル、十六水門ハ全部六間川用水組合ノ爲メニ設置セラレシ樋門ナリ而シテ同組合ハ澤所用水組合ノ惡水ヲ利用スルモノナリ此ヲ以テ澤所用水組合地域惡水停滯ノ場合ハ自由ニ其樋門ヲ開放シテ惡水ヲ排除スルノ慣習ナリ

廣島縣

一 佐伯郡地御前村字大神ニ於テハ川又ハ溝ニ接續セル田ノ上ノ田ヨリ順次下ノ田ニ排水スル慣習アリテ適當ニ行ハル

宮崎縣

一 宮崎郡木花村(甲第二項參照)ニ於テ土堤守ヲ置キ惡水ノ排防ヲナス慣習アリ

第三 適當ナル排水方法アリ且ツ排水ヲ施行スルニ依リ利

用増進セラルヘキ土地アルニ拘ハラズ其排水ヲ拒ム

權利者アルカ爲メニ之ヲ爲スコト能ハサル實例

北海道

一 函館支應管内上磯郡上磯村大字上磯村字追分ニ於テ百五十町歩ノ濕地アリ排水ヲ行ハサル爲メ今尙荒蕪ニ委スルモ久根別川ノ屈曲ヲ同所内ニ直流セシメ以テ排水スルトセハ優ニ水田トナシ得ヘシ然ルニ該排水ヲナストセハ其流域ハ函館港内ニ放流セシムルヲ以テ港灣調査上幾多ノ關係アリ是ヲ以テ曾テ計畫セシメタルコトアルモ休止シタリ

東京府

一 北多摩郡三鷹村地内上連雀、下連雀、新川、牟禮ノ四字ハ地形上窪地ヲナセリ此ノ面積三十四町歩アリ此ノ地區ハ降雨ノ場合ニハ出水ノ爲メ農作物及樹木等ノ害ヲ蒙ムルコト頻々タリ往時之カ救濟方法トシテ關係民協議ノ上各土地内ニ惡水路ヲ設ケ排水シ來リタルモ中頃(年代不明)字新川ノ一

部及仲仙川ノ一部ニ田耕地ヲ開カムカ爲メ品川用水ヨリ引用スルニ際シ其敷地ノ一部ハ窪地ナルヲ以テ十尺餘ノ堤防ヲ築タル結果惡水ハ堤防以北ニ停滯セリ

之レカ爲メ堤下ニ排水坑ヲ設ケタルモ其後堤北ノ農民ト堤南ノ農民トノ間ニ利害問題起リ排水坑ハ堤南ノ農民ニヨリテ閉塞セラル、ニ至レリ然レトモ惡水ハ以上四字ノミニアラス小金井村武藏野村ヨリ集合シテ漸次窪地ニ流下シ上連窪下連窪窪地ノ湧水ト合シ新川ノ堤防ノ北側ニ停滯スルニ至リ大水ノ場合ニアリテハ該堤防ヲ破壊スル勢ナリ、コレカ爲メニ堤南ノ住民ハ出水ニ際シテハ日夜堤下ニ集合シテ之レハ防禦ニカメコレト同時ニ堤北ノ土地ハ水ノ停滯スルト共ニ被害區域擴大シソレカ爲メ新川ノ堤防ノ破壊ヲ企テントスル事往々アリ

此ノ地域ノ排水方法ヲ講スルニ當リテハ勢其慣習上權利ヲ有スル字新川以南ノ各字住民ト交渉シ新川ノ堤防ニ排水坑ヲ設ケ惡水路ニ流下セシメテ堤南ニ於ケル田用水ニ引入ル、トキハ堤北ノ被害ハ除去スルコトヲ得ルモ田用水路兩側ニ護岸工事ヲ施ス必要アリ此ノ工事費ノ負擔ニ付被害土地所有者ニ於テハ負擔ニ堪ヘ兼ネ工事ノ實施ヲ躊躇シツ、アル次第ナリ

京都府

番號	所在地		地積	要領
	郡	町村大字		
一	乙訓	向日寺戸	一〇〇〇〇〇	向日町寺戸ニ於テハ小字深田ト稱スル惡水路ニ同町大字森本ノ用水引用ノ爲メ堰ヲ設ケルノ權利ヲ有スルヲ以テ其附近ノ田面十數町歩ニ惡水ノ停滯ヲ來ス故ニ之レヲ適當ニ排除セシムルニ欲セバ開閉自由ナル門ヲ設ケテ田用水ニ支障ナカラシムルニシテハ開閉ノ權ヲ放棄シテ排水不能ナリ
二	葛野	西院	四九〇〇〇〇	本村ノ稻々中央部ニ神屋川ト稱スルモノアリ其下流迂廻セルノミナラス其幅員狹少ナルカメ河水氾濫シ田面ニ停滯スルトモ下流紀伊郡ノ各村ニ於テ異議アルカ故ニ之レカ改修ヲ實施スルコト能ハス
三	宇治	山科大宅	一・五〇〇〇	山科村大字柳ノ注ヨリ流下スル通稱八官川ニ沿ヘル大字大宅小字石トナレトモ下流關係者之ヲ拒ムカ故ニ其實施困難ナリ
四	同	醍醐醍醐	1	本村大字醍醐小字鍵尾大溝池田江奈志新開等ノ濕田ハ大字石田小字大受ヲ横斷シテ其地先ノ山科川ヘ排水セハ其効果著大ナラシムルモノアリ
五	紀伊	横大路	五〇〇〇〇〇	本村ノ排水ハ納所村字五番町ニ樋門ヲ設ケテ同所ヨリ排水シツ、アルモ納所村ハ他ニ用水ノ途ナキニヨリ夏期樋門ノ際シテ自然排水シツ、アルシテ田面ニ注グテ以テ不意ニ豪雨アルトキハ横大路ノ耕地ニ比較的納所村ヨリ低地ナルカ故ニ上流竹田下鳥羽村ノ雨水ハ横大路村ニ停滯シタメニ水腐ノ害ヲ蒙ル
六	綴喜	八幡	二〇〇〇〇〇〇	本町ノ排水路ハ大阪府北河内郡楠葉村ヲ經テ淀川ニ排出スルモノニシテ常ニ淺濶ヲ要スルモ楠葉村ニ於テハ同水路ヨリ用水ヲ引キ入ルルカ故ニ之カ淺濶ヲ拒ムルモノナラス所々ニ井堰ヲ築キ排水ヲ妨グルカ爲メ多大ノ被害ヲ蒙リツ、アリ
七	同	青谷	四〇〇〇〇〇	本村ニ於ケル排水路ハ木津川ニ直流セルモノナルカ同川常水面ト耕地トニ勾配ナク一朝大雨ニ際センカ惡水常ニ停滯ス故ニ之レチ久世郡宮野庄村地内迄延長スル時ハ其ノ効果少カラサレトモ同村ハ土地所有權利者トシテ水路ノ新設ヲ拒ムカメ其目的ヲ達スルヲ得ス

八	南桑田	旭	各大字	一〇〇〇〇〇	本村大字ハ小谷、福田、中田、善徳、廣保、垣内、凡ソ十町歩ハ現在一毛作田ニシテ馬路村大字池尻宮本村大字屋敷旭村字杉字美ノ田ノ共有溜池ト同一地盤ナリ今此十町歩ノ排水ヲ講セハ二毛作田トナル可キハ勿論ナレトモ其ノ排水ハ溜池ヨリ低キ水路ニヨラサレヘカラス然レトモ該溜池ノ水量ニ影響スルノ虞アルヲ以テ溜池所有權者ノ異議アルカ故ニ排水困難ナリ 排水路甚シク迂廻シ由良川ニ注クヲ以テ漸次川床高マリ水田ノ排水不真ナリ故ニ其排水路ヲ由良川ニ開鑿スルトキハ排水可長トナレトモ下流ノ反對ノタメ其目的ヲ達スル事ヲ得ス 小字深田約二町歩ハ中筋村ニ放水セハ排水ノ目的ヲ達スル事ヲ得レ共モ其反對ノタメニ之ヲ遂行スル事能ハス
九	加佐	丸八江	八戸地	一〇〇〇〇〇	
一〇	同	高野	田里	二〇〇〇〇	

神奈川縣

一 久良岐郡六浦莊村大字釜利谷ノ内小字小泉ト稱スル所ハ隣村金澤村泥龜新田ニ接續シ最モ排水ヲ必要トスルニ不拘下流泥龜新田ニ於テ排水ノ方法完全ナラサルモ土地所有者ニ於テ其設備ヲナサ、ル限リハ上流釜利谷土地所有者ハ之ヲ如何トモスルコト能ハス殊ニ釜利谷唯一ノ排水路タル宮川ノ下流ハ悉ク所有堀若クハ溜等ナルニ依リ一旦惡水ノ汎濫スルニ當リ上流釜利谷地主ニ於テ之ヲ排去セントシ又ハ平素ニ排水ノ設備ヲ企ツルモ下流ニ及ホシテ之レヲ講スル能ハス現ニ宮川下流ノ川幅ハ八間ナルモ接續地點ニ於テ六間ニ狹マリ居ルノ不利アルヲ以テ時々宮川々底ヲ浚深スルモ下流即チ泥龜新田私有堀又ハ溜ヲ同時ニ浚深セサル限リハ其目的ヲ達スルニ由ナク往年（近クハ明治三十

七年前後遠クハ嘉永年間）泥龜新田土地所有者ト釜利谷各部落土地所有者トノ間ニ於テ排水上ノ訴訟アリ延テ懸案トナリ目下未タ完全ナル排水方法ヲ解決スルコト能ハス僅ニ相互ノ利益ト實際トノ上ニ於テ下流持主ハ樋門ヲ設ケテ（樋門ニ對シ釜利谷各部落ト契約アリ）宮川上流ノ水ヲ去來セシムルニ過キサルヲ以テ例年八月九月豪雨出水ノ場合ハ共ニ汎濫損害ヲ免ル、能ハサルノ狀況ナリ

二 中郡岡崎村字大割字山王久保田二十四町歩ハ適當ナル排水方法アルニ不拘其排水下ハ隣村城島村ノ地内ニシテ且同村民ノ所有ナルカ故其排水ヲ拒マル適當ナル排水ヲ爲ス能ハス該排水問題ニ付テハ明治三十九年訴訟ヲ起シタルコトアリ其事件ノ大要ハ排水堀ノ下流へ排水ノ不便ヲ來スヘキ工事ヲ施サレタルカ故ナリ

兵庫縣

一 出石郡小坂村及神美村、城崎郡新田村三江村約一千町歩ノ土地ハ最モ平坦ニシテ河流トノ落差少ナク且ツ一般ニ水路ノ設備乏シク多クハ用排水路兼用ニシテ爲メニ大水路ヲ設クレハ排水ノ効果大ナルニ拘ラス下流耕地ニ故障アルカ爲ニ上流ノ排水ヲ行フ能ハス

二 城崎郡豐岡町、八條村、奈佐村、田鶴野村附近約五百町歩同様ナリ

長崎縣

東彼杵郡ニ於テハ濕田割合ニ多キモ水利ノ關係上工事ヲ施シ得ル水田少ナシ且ツ排水ノ必要ナル個所
モ之カ施行ヲ拒ム權利者アル爲メ實行シ能ハサルモノアリ其ノ主ナルモノ次ノ如シ

- 一 同郡福重村沖田郷壽古郷今富郷内ノ水田約六十町歩
- 二 同郡宮村小島郷長畑郷ノ水田約四十町歩
- 三 同郡大村武部郷田ノ平ノ内水田約二十町歩

新 潟 縣

一 他町村又ハ他大字ト無關係ニテ獨立專用樋管又ハ排水路ニ依リ河川ニ排水スル土地ニアリテハ何等ノ事故惹起セサルモ苟モ他町村又ハ大字ト關係アルニ於テハ常ニ用排水ニ關シ權利義務ノ關係ヲ主張スルモノ多ク殊ニ本縣下ニ於テハ排水ニ關シ其ノ實例多キヲ見ル例ヘハ西蒲原郡内大通川ニ於ケル米納津、佐渡山、小島、雀森堰ノ如ク大排水路ヲ堰止メ灌溉水ヲ取入ル、ノ結果各堰共附近一帶數百町歩ノ耕地ハ洪水ノ害ヲ被ムルコト連年ナルモ此等ノ堰ハ何レモ二百年來ノ歴史ヲ有シ具體的ニ調査スルコト困難ナリト雖各自ノ主張ニヨレハ相當ノ慣習又ハ規約アルモノ、如ク面モ他ニ用水ヲ需メ完全ニ排水ノ途ヲ講スルコト容易ナルモ之ヲ改ムルヲ得ス年々多大ノ損害ヲ蒙リツ、アルハ畢竟舊慣ヲ打破スルコト困難ナルニ依ルモノ、如シ其ノ他僅カノ堤塘ノ新築又ハ増嵩ニ依テ容易

ニ耕地ニ洪水ノ汎濫スルヲ防キ得ルモノアリト雖下流又ハ對岸ノ故障ニヨリ之ヲ實施スルコト能ハスシテ連年空シク洪水ノ被害ニ任スカ如キ本縣下ニ於テハ各所ニ其ノ例尠シトセス

埼 玉 縣

- 一 北埼玉郡忍町大字忍七町一畝十一歩ノ池沼ハ古來城廓ノ要害タリシモ廢藩置縣後沼池ヲ存置スルノ必要ナキニヨリ明治九年六月七日舊成田町士族一同ヨリ歸農就業ノ爲メ沼反別二十一町七反四畝歩使用願出ノ處同年九月五日許可セラレ其後白根縣令ノ盡力ニ依リ士族授産ノ爲十四町一畝九歩ノ開墾地ヲ得ルニ至レルモ城廓存在當時ノ排水方法ニ據ルノ外用惡水路ヲ有セサルヲ以テ連年霖雨期ニ於テ田畑ニ汎濫スルヲ常トス忍町ニ傳染病ノ多數發生スルモ是カ原因タラスンハアラス然シ適當ナル排水方法ヲ講セハ現在未開墾沼七町餘歩ハ良田ト化スルノミナラス衛生上至大ノ効果ヲ得ルヤ必セリ然レトモ下流大字佐間及埼玉村ニ於テ多量ノ排水ヲ拒ムニヨリ急遽之ヲ斷行スルコトヲ得ス
- 二 羽生町城沼以テ狹小ナル土管ニ改良シテ以來其排水非常ニ惡ク浸水被害ヲ殆ト全町ニ及ホシ町民ノ慘狀甚シク實ニ困難ノ状態ナリ而シテ町民ハ適當ナル排水ヲ施行セントスルモ下流町村民ハ排水ヲ拒ミ居ルヲ以テ當町民之ヲ如何トモスル能ハス涙ヲ吞テ其水災ヲ蒙リツ、アリ被害地積最モ甚シキモノヲ舉クレハ左ノ如シ

田畑合計一百四十四町九反三畝十七步

北葛飾郡

四百二

- 三 權現堂川村大字上吉羽字一ツ谷ノ内地積二町歩ハ比較的高地ニアルモ耕地ト耕地ノ間ニ一枚ノ畑アリテ排水ヲ遮斷シ若シ其畑ヲ開墾排水セントセハ憐地ノ低地ヨリ苦情アリテ實行スル事能ハス
- 四 南櫻井村大字大倉字香取回耕地ニ屬スル田一反三畝廿四步畑一町八反八畝四步山林八畝一步ノ地ハ一ツノ小塘ヲ切開セハ排水ノ道ヲ得テ利益増進セラルヘキ土地ナルニ下流悪水組合ニ於テ之ヲ峻拒スルヲ以テ年々排水ニ苦ミツ、アリ
- 五 幸松村大字不動院野ノ一部及田宮村大字大塚ノ一部ハ低窪地ニシテ一朝豪雨ニ際セハ洪水スルノミナラス庄内古川ノ増水ニヨリ容易ニ排水スル能ハス七日乃至十日間排水ノ慘害ヲ蒙ルニ至ル是レカ危害ヲ薄カラシムルニハ排水機ヲ設置スルノ必要ヲ生ス然レトモ之ヲ四ヶ村落ニ排水センニハ堤塘虛弱ニシテ意ノ如クナラス安戸落ニ排水センニハ管理者ノ承認ヲ求ムルノ難事アリ故ニ目下庄内古川ノ自然的減水ヲ待ツノミ此關係面積約五六十町歩ナリ
- 六 島中領ハ(栗橋町靜村豊田村及行幸村ノ一部)關係面積千四百四十八町歩ニシテ一朝豪雨ニ際セハ洪水甚シク容易ニ減水セサレトモ元北側用水ノ加用水ノ以テ開カハ忽チ減水シテ耕地ノ利用ヲ増進スヘキモ古來ノ慣習アリテ開ク能ハス而シテ權現川用水路幸手町大字内國府間地内字巡禮樋管ヲ用水

期節中毎年四月廿五日ヨリ九月二十日迄ノ間開戸シ同用水路ニテ權現堂川通ヨリ引水セサル時幾分排水スルヲ得レトモ豪雨ノ際ハ閉戸セラル、ニ付全ク排水ノ途ナク依テ行幸村大字外國府間地内ニ排水機ヲ設置シ權現堂川ニ排水シツ、アリ

七 松伏領村大字大川戸ノ一部庄内古川組合ニ加入セル土地ハ周圍ニ堤塘ヲ圍ラシ排水ニ困難ヲ感ス此土地ハ堤塘ノ一部ヲ切開シ八間堀悪水ニ排水路ヲ設クレハ容易ニ排水スヘキモ下流ヨリノ故障アリ庄内古川ハ河底漸ク高マリテ前記ノ土地ハ甚タ低窪ノ地タリ故ニ排水スル能ハス年々排水ニ苦ミツ、アリ此關係面積約十二町歩ナリ

八 豊野村及松伏領兩村ノ一部約二百十八町歩ノ土地ハ八間堀悪水路ニ流落シツ、アルモ松伏領村大字大川戸地内ニ俗稱七分三分ノ堰ナルモノアリテ意ノ如クナラス年々洪水ノ危ニ逢ヘリ

九 金杉村大字築比地、民部耕地八町歩ハ大字金杉ニ排水スルコトヲ得ハ困難ヲ感セサルモ古來ノ慣習アリテ下流ニ排水スル能ハス却テ排水機ニヨリ江戸川ニ排水シツ、アリ

一〇 庄内古川ハ郡ノ中央ヲ縦貫スル大悪水路ニシテ其關係面積實ニ七千三百町歩ニ達ス而シテ其悪水ハ郡ノ東端ニ於テ江戸川ニ流落スルモノナルカ近年江戸川ノ河底甚シク高マリ流落甚タ遅緩ナリ然ルニ庄内古川ハ之ヲ適當ノ地點ニ於テ大落古利根川ニ流落セシメハ適當ナル排水ヲナシ得ヘシ

南埼玉郡

四百三

一 鷺宮村大字葛梅一町歩大字上内十二町歩ハ俗ニ深田ト稱スル排水不良ナル耕地ナリ然レトモ本耕地ノ排水ヲ適良ナラシムルニハ太田村ヲ經テ同村中落堀ト稱スル惡水堀ニ排除セシメハ完全ヲ期シ得ヘキモ鷺宮村及太田村ノ境ニ口經七寸ノ土管ヲ以テ排水ノ制限セラレアリ尤モ往昔ハ六寸ノ口經ナリシヲ數年前兩村協定ノ結果現形ニ改メタルモノナルモ更ニ之ヲ口經一尺以上トナスニアラサレハ完全ニ排水シ難キモノトス然レトモ此ノ關係ハ上下流ニ古來幾多ノ論争ヲ重ネ容易ニ排水口ヲ大ニスル能ハサルモノトス

二 三箇村大字三箇字寺田、狹間、大藏、早川、矢島、沼新田、北谷、傍面大久保約百町歩ノ土地ハ概ネ凹地ニシテ之カ排水ハ中堀、庄兵工堀ヲ通シテ大落堀ニ注瀉セル者ナルモ唯一ノ排水本渠タル庄兵工堀ノ堀床ハ漸次埋嵩シ且ツ下流篠津村大字野牛地内ニ馬立堰ナル煉瓦造堰枳アリテ用水時期ニハ之ヲ閉鎖シテ水位ヲ高隆セシメ同村地内約四十五町歩ノ灌溉ニ供給セラレツ、アルカ爲メ一旦降雨ニ際會スレハ水位上昇シテ前記三箇村ノ凹地ニ汎濫シ稻田忽チ湖海ト化スルノ現況ニアリ然カモ馬立堰ノ斷面ハ甚タ狹小ナルカ爲メ容易ニ減水セス凹地冠水ノ稻田ハ往々腐敗ノ慘害ヲ蒙ルコトアリ

故ニ之カ排水ノ完全ヲ期セント欲セハ庄兵工堀ヲ改修的ニ浚深シ且ツ馬立堰ヲ撤廢スルカ又ハ其斷面ヲ擴大シテ之ヲ自由ニ開閉シ得ルノ權利ヲ獲得スルカ若クハ一部ノ惡水ヲ備前堀ニ流落セシムル

ニ如カサルモ之カ同意ヲ得ルハ何レモ容易ノ業ニアラサルナリ

大里郡

二三 明戸、幡羅ノ兩村及深谷町ノ一部ニ於ケル城北堀用水ニ依ル排水路擴張及浚深ハ前記各町村ニ及ホス影響甚良好ナルモノアリト雖トモ排水地タル太田村一部ノ權利者之ヲ拒否スルノ結果行フコトヲ得ス其地籍太田村ニ屬シ江袋溜井ニ向テ排水スルモノナルカ故ナリ

一四 熊ヶ谷町ニ於ケル状態ハ人口増加ノ爲メ田面ハ宅地又ハ畑トナリ附近排水ノ方法ヲ無視シ土地ノ効果ヲ減却スルモノヲ生スルモ之等ハ一、二地主ノ協約ニ依リ改善セラルヘシト雖トモ同町及久下村ニ亘ル鐵道線路ハ其布設當時ハ耕地ヨリ高一尺内外ニシテ用水路、暗渠、橋梁等之ニ伴フ設計ナリシカ耕地ハ依然舊形ヲ存シツ、アルニ係ハラズ線路ハ漸次敷上ケ一方ニシテ殊ニ去ル四十二年ノ洪水ニ依リ線路ハ一層ノ敷上ヲ決行シタル結果布設當時ニ比シ著シキ高サトナリ一朝大雨ノ際ハ其排水ヲ遲緩ナラシメ出水等ノ場合ニ於テハ豫期以上ノ被害ナキヲ保シ難シ之レ素ヨリ本文ニ該當ノ事項ナラサルモ又重視スヘキ事實ナリト認ムルヲ以テ茲ニ附記ス

北足立郡

一五、尾間木村大字大牧字和田、字梅所ノ地積約六町歩ノ排水ヲ施行スルニ當リ大字大間木字淺間下地先ヨリ拒マル、爲メ排水ヲナス能ハサル現狀ナレトモ目下是レヲ協商中ナリ

一、君津郡根形村大字飯富地先水田約二十町歩ト其ノ隣接地タル同郡中郷村大字會根カ惡水排除スヘキ堰樋ノ位置ヲ變更シ且ツ其ノ樋門ヲ高メタルカ爲排水宜シキヲ得ス常ニ惡水溢シテ被害少カラサルナリ

蓋該樋口ヲ低下シテ耕地々盤ト平均ヲ保ツニ至ラシメハ飯富地先ノ溝水ヲ排泄スルニ利便タルヘキモ會根區ハ之レカ爲水害ヲ被ルノ恐アルヲ以テ他ニ適當ナル排水ノ途ヲ講スルノ外ナカルヘシ

二、印旛郡木下町字小林砂田ヨリ耕地ヲ中斷シテ本埜村字小林新田ニ通スル一條ノ道路アリ此ノ道路ノ西方ハ木下町小林耕地東方ハ本埜村字物木ノ耕地ニシテ地勢ハ西ヨリ東ニ向テ遞次降下シ而シテ道路以西ノ雨水ハ每ニ此ノ道路ノ爲ニ遮斷セラレ、ヲ以テ惡水ハ小林地先ノ水田ニ停滯シ腐水ノ害ヲ破ル地積約四十町歩ヲ下ラサルナリ

尤モ此ノ道路ニ惡水排除ノ溝渠ヲ開設スルトキハ直ニ物木ノ耕地ニ流出スルヲ以テ小林地先ノ水害ヲ除去スルコトヲ得ルモ之レカ爲メニ物木區ハ多少ノ水害ヲ免ル、コト能ハサルナリ故ニ往古其ノ下流タル物木區カ該道路ヲ小林區ヨリ買收シ爾來專ラ物木區ノ管理經營スル所トナリタルヲ以テ今日小林區カ自由下方ニ惡水ヲ排除スルコト能ハサル所以ナリ

三、東葛飾郡川間村字船形耕地二百五十餘町歩ハ地味豐饒ナリト雖トモ溝水ノ爲メニ被害少ナカラサ

ルヲ以テ今ヲ距ル七十一年前旭村字目吹、福田村字木野崎ヲ經テ同村三ツ堀ニ至リ中利根川ニ排泄スヘキ約三里ニ亘ル惡水路開鑿ノ工ヲ起シ嘉永三年之ヲ完成シタリ然ルニ同惡水路ハ旭村字木野崎耕地ノ排水關係上同字内ヲ流通スル水路ハ一定ノ標準ヲ以テ排水量ヲ制限セラレタルニモ拘ハラス當時格別ノ支障ナク自然ニ惡水排除ノ目的ヲ達スルヲ得タルモ其ノ後漸次川敷ノ埋没ト共ニ排水不良トナリ爲メニ前記船形耕地ノ被害少カラサリシヲ以テ明治四十二年工費約金二萬圓ヲ投シテ排水機ヲ設置シ溝水ノ被害ヲ免レタリト雖トモ若シ往年開鑿セシ水路ノ流量制限ヲ解除スルニ於テハ水水機ニ依ラスシテ自然排水シ得ラルヘキ部分アルヲ以テ排水費ニ多大ノ利益ヲ得ラル、ニ至ルヘシ

四、匝瑳郡椿海村字椿及同郡共和村字鎌數兩部落ノ水田三十餘町歩ニ停滯スル惡水ヲ鎌數地先通稱ラテみ川ヨリ新川ニ排除セシコトアリシカ下流ノ土地所有者ヨリ異議ヲ唱ヘラレ屢々紛争ヲ生シタルヲ以テ明治二十四年明治川ヲ開鑿シテ新川ニ排水スルノ途ヲ講シタルモ工事不完全ノ爲メ多量ノ土砂ヲ新川ニ流出シテ其ノ流通ヲ妨ケタル結果新川上流ノ者ヨリ異議ヲ唱ヘラレ遂ニ全ク排水ヲナスコト能ハサルノ境遇ニ陥リ以テ今日ニ至レリ然レトモ目下完全ナル設計ノ下ニ再ヒ明治川ノ排水工事ヲ施行セントスルノ計畫中ナリトス

五、山武郡陸岡村字戸田部落ノ水田十五町歩ハ全部落ヨリ同郡成東町字川崎ニ通スル道路ノ爲メニ惡水氾濫シテ被害尠カラサルナリ然ルニ同郡大富村字野堀部落ニ於テハ低地タルニ拘ラス其ノ道路ヨ

リ悪水ノ流出ヲ許サ、ルカ故ニ戸田部落ハ此ノ悪水排除ノ途ナク現時野堀部落ト交渉シテ右道路ニ悪水溝ヲ開設セントスルモ未タ協定ノ運ヒニ至ラス

六 同郡福岡村字東中島九十根、砂古瀬、二袋、下傍示等數部落水田五十餘町歩ノ悪水ハ南白龜川ニ排除シ得ルモ同川ノ浚深ハ川浚規約ニ基キ長生郡豊岡村字清水ニ於テ之ヲ拒否スルカ故ニ排水充分ナラス爲メニ前記五十町歩ハ洪水シテ水腐ノ害ヲ被レリ依テ南白龜川ニ耕地整理ニ依リ適當ナル浚渫工事ヲ行フハ最モ緊要ナル事業ナリトス

七 同郡正氣村字廣瀬、家徳、幸田、北幸谷各部落ノ悪水ハ低下地タル福岡村字小沼田、及豊海村字西野ニ流出スルヲ以テ此ノ二部落ニ閘門ヲ設ケ大雨ノ際ハ自由ニ開放スルノ約定ナリシモ近來下流地(小沼田西野)ノ部落ハ自己耕地ニ悪水氾濫スルヲ以テ其ノ約ヲ履行セス之レカ爲ニ上流地域タル正氣字廣瀬外三部落ノ耕地約百五十町歩ハ排水不良ノ爲水害尠カラサルナリ

茨城縣

一、東茨城郡千波湖用水普通水利組合ニ屬スル千波湖ハ面積百七十六町歩ニシテ近來著シク埋没シ充分ナル用水ヲ貯溜シ難キヲ以テ用水トシテハ他ニ適當ナル方法ヲ採リ湖面ヲ開拓セント計レトモ漁業權設定ノ爲メ一部ノ開墾タモ不可能ナリ

二 稻敷郡芝崎堰水利組合上流根木村及長竿村、源清田、芝崎村ノ一部面積約五百餘町歩ノ水田ハ此地唯一ノ排水路新川根川ヲ同組合ニテ用水期間中堰ヲ設クルカ爲メ堰上流ハ全ク排水ニ苦シミ年々洪水害ヲ被ルカ故ニ先年之カ調査ヲ爲シ堰上ヨリ堰下ニ通スル「サイホン」ノ排水計畫ヲ立テ同堰組合ニ其承諾ヲ求メシモ同組合ハ上流ニテ排水ヲ充分ナラシムレハ自然用水ニ不足ヲ生スヘシトノ口實ノ下ニ承諾ヲ得ス其儘トナレリ

栃木縣

一 足利郡梁田村大字梁田字稻荷前、鶴足地積凡三町歩ハ元ヨリ低地ナリシモ排水宜シキヲ得ハ耕地整理ヲ施行シ肥沃ノ耕地ト爲スヲ得ヘキモ下流同郡久野村方面ニ於テ排水ノ流水ヲ拒ミ排水ヲ爲シ能サル所ナリ

奈良縣

一 高市郡眞管村大字小槻ハ田面積約二十町歩ニ亘リ暴雨ニ際シテハ上流ノ悪水集中シ來リ屬々浸水ヲ見ル之カ救済ヲナスニハ排水路ヲ適當ニ配置シ排水ヲ計ルトキハ充分ナル排水ヲナシ得ルト雖モ下流大字ヨリ之ヲ拒ムヲ以テ之カ改良ヲ見ルニ至ラス

一 北葛城郡浮孔村大字今里地内十五町歩餘ノ地域ハ葛城川及住吉川交會點ニ在リ是カ排水ハ葛城川

ノ川底高キヲ以テ其川底ニ樋管ヲ布設シ以テ之カ排除ヲ計リタルモ其断面及勾配適當ナラス爲メニ充分ノ排除ヲナス能ハス年々浸水ノ害ヲ被ルヲ以テ樋管ノ断面ヲ大ナラシメ之カ伏替ヲ計ルモ下流關係町村ノ故障アリテ其成立ヲ見ス之カ調査設計ニ依レハ下流ニテ稱スルカ如キ變更ニ依ル損害ナキモ水利上ノ慣習トシテ對價ヲ要求セントスルノ意アルカ如シ

- 一 同郡箸尾村大字大場、田中ハ會我川及葛城川ノ中間ニ在リ上流松塚村及百濟村等合計四百十六町四反六畝十四歩ノ集水アリ暴雨ニ際シテハ會我川及葛城川堤塘決潰スルコト少カラス堤塘決潰ノ場合ハ別トスルモ暴雨アレハ忽チ惡水氾濫シテ農作物ノ被害少カラス之カ排水ヲ完備セシムルノ方法ナキニ非ラサルモ下流町村ニ於テ異議アリ

三重 縣

- 一 三重郡川越村大字豊田地内約六十町歩ノ土地ハ其ノ下流同村大字高松及富洲原村大字天ヶ須賀カ其ノ排水ヲ拒ムヲ以テ利用増進ノ目的ヲ達スルコト能ハス
- 二 同郡河原田村大字川尻ニテハ其下流ニ適當ナル排水溝ヲ穿テハ排水可良トナルモ下流地元ニ於テ右工事施行ヲ拒ムヲ以テ其ノ目的ヲ達スルコト能ハス

愛知 縣

本縣ニ於テハ排水ニ關シテモ亦用水ト同シク大概惡水普通水利組合ノ事業トシテ經營セラル現在ニ於テ惡水普通水利組合總數三十一總其面積三萬九千四百七十九町歩餘ニ及フ而シテ排水ノ最モ不良ナル箇所ハ大概惡水組合組織セラレ現在或ハ揚水機ニ依リ或ハ排水路ニ依リ失々排水ノ方法ヲ計畫セラレアリ而シテ一般ニ惡水モ亦用水ト同シク用地ノ惡水ヲ乙地ニ排除セムトスル場合ハ乙地ニ於テ異議ヲ唱ヘ其計畫ヲ阻害スルハ普通トスル所ナルヲ以テ惡水排除ノ改善ヲ爲サムコト容易ノ業ニアラサルカ如シ而シテ其事實ヲ擧クレハ左ノ如シ

- 一 知多郡内海町大字山海字岩屋部ニ於テハ大雨ノ際ニ於テ滞水ニ困難スルヲ以テ惡水路掘削工事ヲ施サムトスルニ際シ字久村部ニ於テ之ニ反對シ實行スルコトヲ得ス此地積約十三町歩ナリ
- 二 寶飯郡八幡村大字千雨ニ水源ヲ有スル佐奈川ハ(關係反別二千町歩)豊川町大字長草北金屋及國府町大字藤子小坂井村大字伊奈ヲ經前芝村ニ於テ海ニ流入スルモ下流ニ至リ川ノ幅員狹ク雨量多キ時ハ豊川町大字北金屋牛久保町大字牛久保國府町大字藤子ノ耕地ニ浸水シ被害大ナリ故ニ其改修ヲ企圖スルモ下流ノ小坂井村大字伊奈、前芝村等ノ反對アリテ之ヲ實行スルニ至ラス
- 三 渥美郡田原町大字谷熊ノ一部地積三十町五反歩ハ排水樋門小ニシテ排除充分ナラス其樋門ヲ大ナラシメムトスルニハ下流ノ土地所有者異議ヲ唱ヘ惡水路ヲ新設セムトスルニハ土地所有者ノ異議アリ

リテ之ヲ實行スルコト能ハス之レ幾分關係者ニ影響アルモ古來ノ惡習慣ニ依ルモノ、如シ

靜岡縣

- 一 安部郡大谷村地内ヲ貫流スル大谷川ハ大里村高松地内ヲ通過スル附近ニ於テ屈曲甚敷洪水ノ際ハ排水不良ノ爲メ大谷村地内八十町歩ハ日々浸水ヲ見ルニ至ル故ニ改良ヲ希望セルモ改修部分ノ土地所有者他村ニ屬スルヲ以テ常ニ協定不調ニ終ル尤モ本村ハ耕地整理施行ノ計劃ヲ樹テ目下其ノ準備中ニアルヲ以テ本問題モ自然解決ヲ見ルニ至ルヘシ
- 二 周智郡宇刈村春岡地内ニ水腐地約二十町歩アリ一部常ニ反對ヲ唱フル者アルカ爲メ未タ具體的ニ排水方法ヲ講スル迄ニ至ラサルモ適當ノ計劃ヲ以テ排水ヲ行ハ、必ス利用ヲ増進シ得ヘシ
右ハ耕地整理ヲ施行セハ容易ニ救済シ得ヘシ
- 三 引佐郡井伊谷村井伊谷字長田、市ノ澤、前田、谷津、上野下ノ土地ハ從來排水不良ナリシヲ以テ排水ヲ主目的トシテ耕地整理ヲ企劃シタルモ地區内ノ一部約二十町歩ノ土地所有者等ハ排水ノ利益アルヲ認ムルニ不拘企業ニ反對ヲ唱ヘツ、アリ目下尙協議中
- 四 小笠郡南山村ニ於ケル高松川及大坂村ニ於ケル黒松川ハ兩者共俗ニ尻無川ト稱シ流路中途斷絶シテ田面ニ放水シアリ爲メニ其附近ハ全然荒廢ニ歸シ居ルモ下流部ニ於ケル反對ノ爲メ水路ヲ貫通セ

シムルコト能ハス

山梨縣

- 一 中巨摩郡五明村及南湖村ノ内約百三十町歩ハ上流約九百町歩ノ惡水之ニ集注シ來リテ富士川ニ其惡水ノ排除ヲナスモノナレトモ該耕地ト富士川ノ平水位ハ僅カニ二尺内外ノ落差アルニ過キササルヲ以テ降雨ニ際シテハ忽チ富士川ノ増水ヲ來シテ惡水排除ノ途ヲ失シ稻作ヲ枯死セシムルコト實ニ稀ナラストス而シテ之レカ惡水ハ南巨摩郡增穂村ヲ通過シテ富士川ニ排除ヲナス事全キヲ得レトモ增穂村ハ之カ計畫ヲ拒ムカ爲實施ノ運ニ至ラス

滋賀縣

- 一 栗太郡葉山村大字大橋字西浦ニ同郡大寶村大字蜂屋ノ養水掛引ノ爲井堰設置シアリ之カ爲同大字惡水排水溝ヲ殆ント防止セラレ大雨ノ都度人力ヲ以テ疏通ニ努メサレハ忽チ惡水ノ逆流ヲ來シ附近田地ハ勿論宅地内ニ浸水シ衛生上且農作上被害少ナカラス依テ之ヲ除去セントスルモ大字蜂屋ニ於テ之ヲ拒絕シ殊ニ右井堰ハ往古土俵ヲ以テ築造シタリシカ安永九年大橋ニ何等交渉ナク蜂屋ヨリ之ヲ木製トシ構造ヲ堅固ナラシメタル爲大橋ニ於テハ大ニ激昂シ之カ撤回ヲ要求シタルモ蜂屋ニ於テハ容易ニ應セス交渉ノ結果遂ニ蜂屋ヨリ大橋ニ對シ左ノ三條件ヲ附シ漸ク和解セリ

- 一 謝罪及濕料小樽七升、大樽一斗二升、わかめ二十八、さび魚二十枚、毎年六月一日ヲ期シ其村役人ヨリ大橋村ニ對シ永久贈呈セラルヘキコト
 - 二 將來井堰改築ノ節ハ豫メ大橋村ヘ交渉シ其ノ承諾ヲ得タル上工事ヲ施行セラルヘキコト
 - 三 井堰建築後ト從前ト比較シ大橋村田地及宅地等ニ浸水ノ増加シタルトキハ井堰ノ構造ヲ改正シ尙其ノ他ノ方法ニ依リ極力被害ヲ防禦セラルヘキコト
- 以上ノ條件ハ蜂屋ニ於テモ快諾シ請書ヲ提出シアリ

然ルニ明治七年ニ至リ蜂屋ヨリ大橋ニ對シ曩ノ條件中(一)ノ條件廢止ヲ要求シ承諾セリト云フ明治四十二年ニ至リ蜂屋ヨリ大橋ニ對シ曩ニ和解條件(二)號ニ依リ井堰改築ノ義照會セシニヨリ大橋ニ於テハ該井堰改築ニ關シ希望ヲ要求セシニ何等回答ヲナサズ安ニ之ヲ改築シ和解條件ヲ破リ未ダ解決ニ至ラス

- 二 神崎郡旭村大字山本ニ於テ十町歩ノ濕田ニ對シ排水シテ乾田トナサハ其ノ利益ヲ増進スヘキニ依リ耕地整理ヲ施行スヘク已ニ其ノ測量ヲ完成シタルニ拘ハラヌ下流ナル蒲生郡安土村ニ於テ之ヲ拒ムノ風アリ未タ工事實行ノ機運ニ至ラス強テ之ヲ實行センカ多少ノ紛擾ハ免レサルヘシ
- 三 阪田郡北郷里村大字石田ハ臥龍山ノ谿水ヲ受ケ毎年多少ノ水害ヲ蒙リツ、アル面積二十七町餘歩ニシテ區民ト之カ排水ヲ計ラン爲曩ニ耕地整理ノ計畫ヲ立テ將ニ認可ノ手續ヲ履行セントルヤ偶然

下流ノ同郡西黒田村大字八條ヨリ異議ヲ唱ヘタリシ爲中止トナレリ

本件ニ關シテハ郡衙ニ於テ時機ヲ見計ヒ關係大字ノ調停ヲ圖リ該事業ノ進行ヲ促カサン計畫ナリ

- 四 伊香郡北宮永村大字馬上ノ耕地六十町歩ハ從來高時川ニ排水口ヲ設ケ排水シタリシモ近年土砂ノ爲高時川ノ河底増嵩シ反テ排水口ヨリ逆水浸入スルノ狀況ニシテ之カ排水ハ隣接地東淺井郡ノ土地ニ於テセサルヘカラス而モ此土地トハ落差大ナルノミナラス相互ノ利害關係異ナルヲ以テ排水シ得サルノ状態ナリ
- 五 高島郡新儀村大字安井川ノ内元井之口ノ一部ニ屬スル小字百々田小字堀越、小字權田、小字辻田、小字三ヶ瀬ニ於ケル田地約十五町歩ハ東南ハ高キ道路ニシテ北西ハ山脈ヲ以テ繞ラシ全部濕田ナリ此ノ地區ニ對スル排水溝二個アリト雖一ハ山麓ヲ通スル小溝ニシテ排水良好ナラス他ノ一ハ響庭井川ヲ堀割リ小徑土管ヲ埋設シ漸ク排水ヲナスト雖之又充分ナラス此ニ於テ前者ヲ改良センカ工事困難ニシテ費用多額ニ上リ之ニ反シ後者ノ小徑土管ヲ大ニセンカ容易ニ排水スルヲ得現在ノ濕田ヲ陸田ニ化セシムルハ極メテ容易ナリ然レトモ下部落タル舊安養寺ノ拒ムトコロナリ大口徑土管ノ埋設ヲ得サルナリ

因ニ本件ニ關シテハ往時有志相謀リ大口徑土管ヲ埋設シタルコトアリト雖下流ト爭論ヲ惑惹シ現在ノ土管ニ變更シ協定セルモノナリ

岐阜縣

一 海津郡高須町大字馬ノ目、内記ノ地域ハ毎年惡水停滯秧ノ被害アルヲ以テ同所ヲ圍ム大江川除
 桁ニ排水機ヲ設置シ排水セハ大イニ收益ヲ増進シ得ヘキ有望ノ地域ナレトモ大江普通水利組合ニ於
 テ否認スルヲ以テ設置スル能ハス其地積左ノ如シ

大字馬ノ目 田六町一反一畝九步 宅地二町八反七畝二十一步
 畑十四町一反二畝十七步 其他二町六反二畝八步
 大字内記 田三十六町九反七畝三步 宅地一町一反七畝十九步
 畑七反九畝四步 其他四町一反九畝五步

二 又同郡今尾町大字脇野土倉ハ前同様ノ箇所ナレトモ前同様ノ意義ニシテ排水機ヲ設置スル能ハス
 其地積左ノ如シ

大字脇野 田七十七町八反五畝二步 宅地三町九反六畝十三步
 畑十二町一反四畝十八步 其他三町十八步
 大字土倉 田五十五町五反一畝二步 宅地二町一反五畝十七步
 畑十町一反四畝十五步 其他九畝三十步

長野縣

番號	所在地	面積	要領
一	諏訪郡湖南村鴨池	四〇〇〇〇	下流豊田村小川區ノ地籍却テ高地トナル排水不良ナルモ之ヲ改良セントスレハ下流ニ於テ之ヲ拒ムヲ以テ排水困難ナリ
二	北佐久郡布施村字櫻井外二字	三〇〇〇〇	本地區ノ排水ヲ施行スルトキハ下流水無區ニ於テ水量減少スルノ慮アリトテ反對スルヲ以テ施行セズ
三	下水内郡太田村豊田	二六〇〇〇	本地區ノ排水ヲ施行スルニハ下流當盤村戸許用水ヲ除去セサレハ不可能ナルモ右同意ヲ得ルハ困難ナリ
四	下高井郡倭村大字岩井東	五〇〇〇〇	下流大字岩井字下土浮ニテ十町歩ノ水田ニ對シ灌溉ノ便ヲ絶ツヲ以テ同部落ノ同意ヲ得ザレハ排水シ難シ
五	松本市大字筑摩字横丁	二五〇〇〇	低濕地ナルモ松本村字出川部落ニテ同意セサルヲ以テ排水シ難シ
六	北安曇郡會桑村字澁田見	二〇〇〇〇	排水ヲ行フトキハ下流七貴村ノ北部ニ於テ惡水停滯ノ慮アリトテ反對スルヲ以テ施行困難ナリ
七	上水内郡古里村大字金箱外一字	一五〇〇〇	排水ヲ施行スルトキハ下流長沼村ニテ惡水停滯ヲ起スヲ以テ同村ノ同意ヲ得ルコト困難ナリ
八	更級郡東福寺村大字東福寺	一六〇〇〇〇	排水ヲ行ハントスルモ下流西寺尾村ニ於テ惡水停滯スルヲ以テ故障アリ施行困難ナリ

宮城縣

一 遠田郡明治水害豫防組合ノ管理ニ屬スル名緒沼沿岸耕地ハ排水不良ナルヲ以テ之レカ改良ヲ計ラ
 ントスルモ水下廣淵沼大溜池ノ水利組合ハ其ノ目的ヲ異ニスルヨリ相互利益ノ増進ヲ計畫スルコト
 アリト雖トモ利害ノ一致點ヲ欠キ實施スルニ至ラス其後相互組合ノ利益増進ヲ圖ラントスルノ議起

リ目下三郡水利協議會ノ設立トナリ左ノ契約書ヲ締結セリ

記

甲 號 條 約 書

- (一) 明治水門ノ監守人ハ明治水門水害豫防組合監理者及廣瀨大溜池普通水利組合管理者協議ノ上之レヲ選定シ監督官廳ノ認可ヲ得任用スルコト
 - (二) 明治水門ノ前扉ハ陰曆十一月一日ヨリ翌年二百十日迄之レヲ閉鎖シ其期間中名懸沼出水ノ爲メ水門ノ定杭ヲ超ユルトキハ定杭則板ノ定度迄落水セシムヘキコト
 - (三) 水田作物現存ノ場合ニ於テ臨時降雨出水ノ虞アルトキハ定杭五寸以内ニテ落水スヘキコト
但シ此場合ニ於テ實際出水ナキトキハ二十四時間内ニ閉鎖スヘキコト
 - (四) 水門監守人ノ給料諸費及水門修繕改築等ノ費用ハ兩組合ニ於テ負擔スヘキコト
- 右三項ノ内明治水門ノ前扉ハ大雪當日五日前ヨリ翌年二百十日ヨリ十日迄ト大正二年ヨリ變更ス

乙 號 契 約 書

遠田郡桃生郡、牡鹿郡三郡水利組合及關係町村ニ係ル用水排水工事ハ測量及設計ヲ縣廳ニ出願シ其調査ヲ受ケ興利除害ノ工事ナルトキハ三郡水利組合及關係町村共起工スヘキコト
但シ右測量及設計ノ費用ハ縣廳ノ達ニ從ヒ上納シ工事費ハ三郡組合及關係町村協議ノ上相當ニ負擔シ尙地方稅ノ補助ヲ請求スルコト
右協議ノ上契約スル者也

二 桃生郡前谷地村耕地ノ排水ハ江合、北工ノ兩川ニ排除シ來リシカ近年ニ至リ該河床嵩上フ結果洪

水ノ際ハ勿論平時ト雖トモ自然排水ノ効用ヲ失シ惡水停滯ノ害ヲ蒙ルヲ以テ去ル三十六年之レカ排水ノ改良ヲ計ラントス下流牡鹿郡鹿又、蛇田兩村ヲ通過シ北上運河ニ排除スル計畫ヲ立テシモ水下耕地ノ協定相整ハスシテ今ニ起工ノ運ヒニ至ラサル状態ナリ

福 島 縣

一 耶麻郡月輪村千里村、翁島村、北會津郡湊村、安積郡月形村、赤澤村等ノ猪苗代湖岸ニ位スルヲ以テ洪水毎ニ湖水氾濫シ沿岸一帶百町歩ノ地積ハ水害ヲ被ルコト甚タシキモノアリ是レ畢竟安積疏水組合ノ爲メニ設ケラレタル翁島村大字翁澤字戸ノ口十六橋閘門ノ開閉自由ナラサルニ依ルモノニシテ若シ之ニ對シ適當ニ排水スルコトヲ得ハ水害ヲ減少スルノミナラス年來浸潤セル惡水ヲ排除シ得テ增收實ニ大ナルヘキモ該閘門ノ開閉ハ安積疏水組合ノ掌握ニ歸シ且ツ同水利組合ハ猪苗代水力電氣株式會社ニ對シ水利ノ利用ヲ承認シタル等ノ關係アルヲ以テ容易ニ排水ヲ適當ナラシムルコト能ハス爲メニ沿岸各村ニ於テハ排水、償金等ヲ要求シ訴訟ヲ提起シタルモ遂ニ敗訴ニ歸シ今ヤ全ク排水ノ望ナキニ至レリ

二 石城郡玉川村大字野田、大字住吉地内ニ於テハ田面積約八十町歩ニ對シ明治四十年頃耕地整理ヲ施行シ區劃井然トシテ一見美田ノ如クナルモ土質濕潤ナル爲メニ毛作等ノ見込ナク且ツ僅カノ降雨

ニモ直チニ浸水シ湖沼ノ觀ヲ呈スルヲ以テ關係者ハ數回協議ヲ凝ラシ兩大字ニ互リテ一大排水路新設ノ計劃ヲ立テタルモ毎ニ排水尻ニ當レル同村大字大原ノ承諾ヲ受クルコト能ハスシテ空シク傍觀シツ、アリ然レトモ此儘ニ放任シ置クトキハ毎年浸水ノ害ヲ被リ到底完全ナル收穫ヲ見ルコト能ハサルヘシ

青森縣

番號	所	在	地	積	要	領
一	南津輕郡十川沿岸			五〇〇〇〇〇〇	北津輕郡ニテ堤防保存ノタメ兩岸ニ樹木ヲ植付クルニ依ル	

秋田縣

- 一 由利郡下川大内村新澤字碓田面積六反六畝二十三歩ノ土地ハ四圍皆水田ニシテ四時水ヲ堪ヘ排水溝ヲ設ケントスルモ隣地所有者ノ反對ノ爲メ排水實施スルヲ得ス
- 二 同郡同村下川原田面積四反歩ノ土地ハ惡水湧出スルニ依リ排水ヲ行ハントスルモ隣接地主ノ反對ニヨリ排水溝ヲ設クルヲ得ス
- 三 南秋田郡天王村字二田部落ハ明治ノ初年二田氏ニヨリテ開墾セラレ其後新タニ移住民ニヨリテ現

在ノ部落ヲナシタル地ナルカ其内水田約百四十町歩ハ浸水ノ爲メ頻年凶歉打續キ殊ニ最低位置ノ水田約二十町歩ハ殆ント收穫皆無ナルコト珍ラシカラス其原因ハ排水口存在セサルニ由來ス即チ部落ノ下方ニ甚タ淺井貯水池アリテ低キ他部落ノ用水源トナリ居レリ池ハ淺キカ故ニ貯水ハ溢レテ下方ノ他部落ノ田地ヲ浸スノ恐レアリサリトテ排水トシテ流過セシムルトキハ水ノ不足ヲ感スルヲ以テ二田部落ノ耕地ト池トノ間ニ堤防ヲ築キ下方部落ノ田地ノ浸水ヲ防キ上方即チ二田部落ノ耕地水ニヲ湛ヘ置キ代掻時期ニ於テハ堤防ヲ破リテ上方ヨリ引キ入レ八月中旬ニナルヤ再ヒ締切リテ翌年ノ用水トシテ貯フルナリ斯ク如クシテ二田部落ハ排水ニ苦メラレ種々考案ノ未大排水路ヲ八郎湖マテ導キテ根本的ニ解決ヲ告ケム爲メ附近部落ノ同意ヲ求メ居レトモ不幸ニシテ未タ其機運ニ至ラス

福井縣

- 一 坂井郡木部村木部堤防水害豫防組合區域ニ沿フ鬼部堤防アリテ上流地域ノ惡水排除上不利益ナルヲ以テ之レカ改善ヲ謀ル爲メ本堤ヲ取拂ヒ大排水路ヲ設ケ以テ河水ニ排水スルハ有利ナリト雖モ防水ノ關係上協定ナラス排水ノ改良ヲ期シ難キコトアリ遺憾ナリトス
- 二 遠敷郡鳥羽村山内持田、長江及小原ヲ通過セル鳥羽谷川ハ年々洪水ニ際シ土砂ヲ沈滞セシメ之カ

浚渫ヲ爲ス爲メ多大ノ經費ヲ要スルヲ以テ之カ改修ヲ行ヒ上流惡水被害地約八十町餘ノ排水方法ヲ講スルハ極メテ有益ナル事業ナリト雖モ改修地籍ハ瓜生村地籍ニシテ從來ヨリ惡水被害ナキヲ以テ改修ニ同意セス未タ實行ノ運ヒニ至ラス

石川縣

一 本項ニ付テハ特ニ記載スヘキ事項ナキモ近時耕地整理ノ施行ト共ニ甲乙相融和シ排水適當ニ行ハル、ノ狀況ニアリ

富山縣

中新川郡

一 滑川町大字西町、高月町、領家町ニ於テ約十五町步、釜ヶ淵村大字米谷口村大字米道村ニ於テ約七町步ノ濕田アリ是等ハ排水十分ナルニ於テハ乾田トナス事ヲ得ルモ他村ノ土地關係上權利者ニ於テ拒ム爲メ排水ヲナス事ヲ得ス

婦負郡

二 倉垣村大字布目村地内字住吉田、江尻田、八ヶ尻、燒持田等ノ四十餘町ハ濕田ニテ之ヲ乾田トナ

ス爲メ排水ヲ大字打出村へ貫流スレハ良好ナルモ他村ノ土地關係上權利者ノ反對アルカ爲メ排水ヲ爲スコトヲ得ス

三 倉垣村大字七ヶ村内ニハ適當ナル排水路アルモ排水ノ方法十分ナラサル爲メ常ニ各大字村ハ惡田ト稱セラル、箇所ニシテ甚シキハ大字本郷村字蒲地、蓮池、野口ノ一部大字大塚村字西赤地、東赤地等ニシテ此地積約三十町步ハ排水極メテ不十分ナリ其ノ要ハ本村ハ婦負郡ト射水郡トノ境界地ニテ大字本郷村ト射水郡下村大字倉垣小杉村トノ境界ニ流水ヲ制スル如キ堤防ヲ築キ降雨打續キタルトキハ一時ニ溜水シ稻作上大ナル被害ヲ受クル爲メ數回權利ヲ爭ヒタリ又其ノ大字六ヶ村モ降雨甚シキ時ハ一時ニ溜水シ容易ニ減水セス被害ノ甚シキモ本村限リトシテ適切ナル方法ヲ執ル手段ナシ是レ本村ヨリ十町餘距タリタル射水郡下村ニ流通セル排水川中大字下村地内ニ於テ水門ヲ作り堰ヲナシ上流ノ排水ヲ流下セシメサル爲メ前記各村ハ水害ヲ被ル事毎年幾回ナルヲ知ラス依テ屢々該水門取拂方交渉セルモ斯クセハ同村大字下村ニ於テ溜水スルヲ以テ嚴重ニ水門ヲ堰キ取拂ニ應セス

四 朝日村大字下條村下條排水古川ヲ大字小泉村、安田村ノ池田川排水ニ合流シ之ヲ東吳羽村大字金屋村領ニ至リ井田川ニ注クトキハ下條村小泉村ノ水田約三十町步ハ乾田ノ上地トナルモ金屋村之ヲ拒ム爲メ逆流シ下條村地内ニ於テ田五町步餘ハ湖水ノ如ク二十年來不作付荒地ノ狀態ニアリ小泉村安田村モ亦年々水害ヲ免カレス

五 熊野村、下井澤村地内約六十町歩ノ耕地ハ同村ノ北方遠星堤防ニヨリ流水ヲ停滯シ一朝出水若クハ暴雨ノ際ハ最寄ノ耕地或ハ排水路ヨリ流下スル水量ハ適當ノ排水路ナキ爲メ一大湖水ノ如クナリ年々大損害ヲ蒙レリ而シテ是カ損害ヲ免カル、ニハ遠星堤防ニ排水箇所ヲ設ケ遠星村大字袋、麥島、笹倉ノ各村ノ東端ヲ貫通スル排水路ヲ設ケ井田川ニ注入スル事トセハ右耕地ノ水害ヲ免カル、ナラシム之ヲ拒ム權利者アル爲メ履行スル事ヲ得ス

島根縣

番號	所在地	面積	要	領
一	能義郡宇賀莊村大字九重及佐久保	四〇〇〇〇	沼澤地ナルヲ以テ之カ排水ヲ目的トスル耕地整理ヲ發企セシコトアルモ下流ノ土地所有者トノ協議調ハサル爲メ施行ニ至ラザリキ	
二	仁多郡横田村大字中林	一五〇〇〇	田地ノ排水ヲ企畫セシモ排水路カ他人ノ所有地ヲ通過セサルヘカラサル關係上該所有者ノ同意ヲ得ル能ハス爲メ實施シ得ザリキ	
計		四・一五〇〇		

岡山縣

一 自然地勢ハ充分排水ヲナシ得ルニ拘ラス人工的ニ排水ヲ阻害シツ、アルモノアリ

後月郡縣主村 地域四十町歩

同村ノ主要悪水路ハ稻木川ニシテ其流域千五百町歩前後アリ而シテ同川ハ下流ニ存セル同郡木ノ子村ノ悪水ヲ合シ本村ヨリ約一里ニシテ高梁川ノ支流タル小田川ニ合流セリ而シテ尙二條ノ天井川ニ依リ本排水不良地以外ノ水ヲ此川ニ合流シ排水シツ、アリ然レトモ其下流村タル木ノ子村地内ニモ低濕地約五十町歩ヲ有シ現在ノ稻木川排水口ニハ充分排水ヲナシ得サルヲ以テ一時上流ヨリ流下シ來ル水ヲ本村ニ貯フル目的ニテ左ノ二ツノ計畫ヲナシ今尙其方法ヲ持續シツ、アルモ是カ改善容易ナラス目下二村聯合ノ耕地整理ヲ企畫シ之カ根本的改善方法ノ考究中

(イ) 稻木川ヲ本村入口ニ於テ二分シテ分流セシメ其一ハ直ニ木ノ子村地内ニ悪水ノ流下スル如ク最低部位ニ設置シ断面ニハ相當ノモノヲ有シ他ノ一支流ハ漏斗形ニ下流ニ至ル從テ断面ヲ縮少シ最後ニ於テハ其中員僅々一間内外ニ過キス從テ豪雨ニ際シテハ悪水溢流シ本村ノ低地ニ停滯ス更ニ同支流中兩村界ニ相當スル部分ニ長四間巾三間前後ノ砂留ヲ設置シ同所ニ埋堆セル土砂ハ容易ニ浚渫ヲ許サス以テ此支流ノ悪水溢流ヲ増大ナラシム

(ロ) 稻木川及是ニ合流スル悪水路ハ共ニ天井川ニシテ降雨ニ際シテハ勿論低濕地ノ排水ハ全々不可能ナリ從テ低濕地ハ非常ノ洪水ヲ見時々插秧等ナシ得サルコトアリ假令插秧スルモ全々腐朽スルコトアリ特ニ被害甚タシキハ穂孕及出穂時期ニシテ爲メニ全ク收穫ナキコトアリ如斯被害アルニ

不拘此灌水ノ排水ハ當初ハ僅ニ徑八寸ノ土管ヲ天井ノ堤下ニ埋没シ排水スルコトヲ得ルノミ勿
論下流ニ灌水ナキニ至ラハ此限ニアラス從テ益々灌水日數ヲ長カラシメ被害ヲ増大ス
排水計畫ニ依リ排水ヲナシ得ルニ拘ラス下流權利者ノ抗議アル爲メ其計畫ヲ實施シ能ハサル爲メ排
水不良ノ地

二 後月郡木ノ子村(一項縣主村トノ聯合耕地整理モ本計畫成立セサレハ實施ノ見込ナシ)
其地積五十町步

前項所載ノ稻木川小田川排出口ヲ現在ノ位置ヨリ約六百間下流ニ移セハ小田川水位ト本村最低地盤
トノ關係ハ排水上支障ナキニ拘ラス其間ニ小田郡北川村ニ小田川ヨリ用水ヲ引入ル、井堰アリ同關
係者ヨリ前項稻木川付替ハ此用水路ノ用水引入レ量ニ影響シ且ツ小田川ノ流水方向ヲ變化シ爲メニ
北川村地内堤塘ニ危害アルモノトシ或ハ旱害ニ際シ小田川地下水ヲ踏シ上クルコト、ナシ得ル様現在
小田川ニ二三ヶ所淵ヲナセル部分之カ爲メ埋堆シ付替後ハ地下水ヲ取ル爲メニハ特ニ浚渫ヲ要ス等
ノ理由ノ下ニ之カ實施ニ賛同セス(實際ハ何等影響ナキ如ク想像サル)爲メニ今尙協定中ニ屬ス

三 御津郡平津村 地積八十町步

揚水機ニ依リ本村ノ一側ニ流ル笹ヶ瀬川ニ放水スルヲ尤モ使トスルモ同村ヨリ下流ニ於テ樋門ニ依
リ笹ヶ瀬川ニ放水シツ、アル町村ヨリ從テ本村ニ於テ機械排水ヲナス時ハ從來本村ニ灌水シツ、ア

ル水ノ出水時ニ排出セラル、ヲ以テ之ニ排出口ヲ有セル町村ノ樋門ノ開閉時ニ影響シ不良ノ結果ヲ
來スト云フニ在リ本問題ハ未タ正式ニ交渉ヲ經アル者ニ非サルモ其抗議ノ出ツルハ明ナル事實ナリ

四 邑久郡國府村大字磯上 地積四十町步

計畫ハ承水溝ヲ設ケ本村ニ集注滯溜スル水ノ大部分ヲ降雨當時ニ千田川ニ排水スルトキハ灌水ノ被
害ヲ輕減シ得ルニ拘ラス如斯ナセハ洪水時ニ於ケル千田川ノ水位ヲ計畫以前ヨリハ高ムルモノトシ
目下陳情書ノ提出アリ縣及郡ノ説明ニ依リ未タ問題トナルニ至ラサルモ愈工事實施ニ際シテハ多少
ノ紛議ヲ免レサルヘシ

以上第二第三第四ノ如キハ何レモ法律ノ下ニ事實ヲ基礎トシ慣行ニ依ル異議ノ主張ヲ制限スルニ非サ
レハ之カ改善ハ豫期シ難シ

廣 島 縣

佐 伯 郡

一 五日市町大字五日市字一本松面積三町步ハ排水ノ途ニ窮シ從來一本松堤防ニ二ヶ所ノ樋門ヲ設ケ
排水セルモ川床高クシテ排水充分ナラサルニ依リ一本松從來ノ用惡水路ヲ通過セシムレハ充分ニシ
テ且樋門ノ修繕及樋番賃ヲ要セサルニ付排水路變更セントスルモ從來ノ慣習ニヨリ其排水ヲ拒ム權
利者アルニ依リ之ヲ變更スル能ハス

- 二 適當ナル排水方法アリ且排水ヲ施行スルニ依リ利用増進セラルヘキ土地アルニ拘ラス其排水ヲ拒ム權利者アルカ爲メ之ヲ施行スル能ハサル土地ハ左ノ如シ
 - (一) 秋越村大字秋山向瀬戸 六反歩
 - (二) 同 大字小越字中田 三反七畝歩
 - (三) 同 同 字金五郎 五畝歩

豊田郡

三 水ニ關シ本部ニ於ケル該當事項左ノ如シ

番號	所在地名	區域地積	要領
一	船木村茅田部落	八・〇〇畝	上記部落ノ悪水路ハ下流ノ菅川ニ土砂埋没セルヲ以テ排水充分ナラス故ニ耕地ニ宿水シ年々ノ被害少ナラス今之ヲ中筋部落ノ悪水ニ聊カ人工ヲ施シ排水方法ヲ講スレハ土地ノ利用増進スルヤ疑ヒナキモ自己ノ土地保護ノ名目ノ下ニ之カ施工ヲ拒絶シツ、アリ
二	南方村字石代、勸生、免、樟本見川、足陸、才崎	一五・〇〇	上記ノ部落ヨリ沼田四村大字杉江ニ水路ヲ延長セハ將來排水最モ良好ナリト認ムルモ權利者土地保護上拒絶セリ
三	上北方村字河長、窪外、五字	一〇・九八	權利者ノ土地保護上拒絶セリ
四	下北方村字宗廣、窪外、二字	六・一二	同

御調郡

四 岩子島村同村字樋ノ口九反九畝十四歩ノ排水工事ヲ施サントスルモ下流地主ノ反對ニ依リ施業スルヲ得ス

蘆品郡

五 福相村ノ内相方區ハ古來棉作ニ適シ別段用水灌溉ノ要ヲ認メサリシニ依リ概ネ畑受トナシ蘆田川ノ流域ニ沿ヒタルニモ拘ラス用水引用ノ設備ヲ爲サ、リシカ近時蘆田川埋没ニ伴ヒ悉皆濕潤地ト變シ加フルニ棉作ハ時勢ノ變遷ニ伴ヒ廢絶ニ歸シ米作ノ外途ナキニ至リ先年來用水灌溉並ニ排水ノ計畫ヲ爲シ實施セントスルモ下流十三ヶ村近田堰ノ舊慣ヲ主張シ水路開設ノ業ヲ妨クルヲ以テ無止各自井水ニヨリ米作ニ灌溉シツ、アルモ多額ノ失費ト多大ノ勞力トヲ要シ收支償ハサルカ故ニ地主ト小作人ノ間ニ於テ苦情續出シ困難ノ極ニ達シ遂ニ昨年末耕整理ニ依リ此苦難ヲ免レントシ目下出願設計書下付請願中ナリ此關係耕地反別三十町歩ナリ

神石郡

六 適當ナル排水（土壤改良ノ目的ニテ施行スル田地ノ排水工事ヲ云フ）施行ノ要アル土地アルモ隣接地所有者種々ノ事情ノ爲メ其流下スルニ異議ヲ唱ヘ排水ヲ行フ事能ハサル土地ハ稀ニアルモ之カ大部分ハ所有者他郡村ノモノ多ク爲メニ交渉意ナラサルト地方一般ニ共同心ノ乏シキモノアルニ基因スルモノ、如シ其重ナル所在地及地積ヲ記スレハ左ノ如シ

豐松村下豐松川東谷父面

地積 約五反歩

甲 奴 郡

七 排水ヲ拒ム權利者アルカ爲メ排水ヲナシ能ハサル土地ハ左ノ如シ

番號	所在地	地積	要領
一	甲奴郡清岳村	凡三町歩	他人ノ土地ヘ排水溝ヲ設クルニ非ラサレハ排水シ能ハサル場合ニ地主承諾セス之等ノ排水工事發達スルニ伴ヒ各町村ニ此種ノモノノ續出スルニ至ルヘシ
二	同 吉野村	凡一町歩	

双 三 郡

八 和田村内ニ於テ田一反二畝歩アリテ排水ヲ爲ストキハ二毛作地トナリ利益増進セラルヘキモ之カ施設ヲ拒ム權利者アリテ實行スル能ハス

比 婆 郡

九 山内東村ハ概シテ濕田多ク排水ノ必要ヲ認メルモ水ノ土地所有者ニ於テ故障ヲ申立テ爾爲メ容易ニ實行シ難シ

山 口 縣

番號	郡 名	所 在	區域ノ地積	要 領
一	玖 珂 郡	下 川 村	一〇〇町	何レモ干拓地ニシテ數度ニ干拓セラレタル土地トシテ其ノ間ニ高キ堤防アリテ堤防ニハ最終ノ干拓地カ海面ナリシ時海ニ排水スルハ其ノ間ニ高キ堤防ヨリノ異議ニヨリ大サ受水面積ニ比シテ不足スルモ最終ノ干拓地内ニ海ニ接スル其ノ斷面ヲ擴グルハ雨ノ被害ナキ奇現象ヲ呈ス
二	吉 敷 郡	名田島村開作	一〇〇町	
三	熊 毛 郡	大野村ノ一部	五〇町	
四	都 濃 郡	富田村ノ一部	五〇町	
五	吉 敷 郡	小郡町ノ開作	一〇〇町	

要領
 惡水ハ宇佐木川ノ堤ニ防止セラレ排水スルニハ平
 生町ノ宇佐木川ノ堤ニ防止セラレ排水スルニハ平
 水濕三ニシテ暗渠排水ヲ數設スルハ十分乾燥スル見込アル
 戸アリニシテ排水ヲ行ハルニシテ然ルニ野村開作ヨリノ
 異議アル爲メ施行スル事能ハス
 本開作ハ榎野川ヲ隔テ、名田島村開作ト相對ス而シテ名田島
 開作ハ小郡開作ヨリ數町海中ニ突出ス故ニ榎野川洪水ノ度毎
 ニ名田島開作ノ片堤ニ壓セラレ水ハ小郡開作ノ方ニ亂流シ其
 ノ流シハ能カニ榎野川ニ出テ、廣キ海面ニ達セシトハ、速
 カチ減シ土砂ヲ洗シ、其ノ境域ヲ増ス之ヲ除クニハ小郡開
 作方面ノ榎野川堤ハ毎年其ノ境域ヲ増ス之ヲ除クニハ小郡開
 作方面ノ榎野川堤ハ毎年其ノ境域ヲ増ス之ヲ除クニハ小郡開
 作方面ノ榎野川堤ハ毎年其ノ境域ヲ増ス之ヲ除クニハ小郡開

德 島 縣

一 那賀郡長生村

同村ノ南方ヲ流ル、桑野川ニハ藩政時代ニ築設セル石堰堤アリテ此ノ堰ヨリ引入レタル用水ヲ以テ

其下流約千町歩ヲ灌溉ス故ニ此ノ堰堤ノ爲メ上流左右ニ亘リ約百町歩ハ濕潤ヲ極メ排排不良ニシテ到底完全ナル耕作ヲナスコト能ハス依テ堰堤ノ改造又ハ他ノ排水方法ヲ講セントスルモ堰堤ヲ管理スル水利組合ヨリ故障アリテ之ヲ斷行スルヲ得ス

二 那賀郡大野村

同村大字下大野村字大橋外六字ニ亘リ田六十七町六反四畝十歩ハ排水ヲ施セハ有利ナルモ長生村大字西方村八幡社北部(岡川)ニ設置セル井堰關係者ノ故障ニ依リ排水路ノ新設ニ至ラス

香川縣

一 本縣ハ灌溉水ニ就テハ第三項ノ如ク之ヲ得ルニ苦心スルモ排水ニ就テハ僅ニ海邊ニ隣接スル數ヶ所ノ耕地及山間ニ點散スル狭少ノ耕地ヲ除ク以外ハ更ニ排水ノ施行ニ依リ土地ノ利用ヲ増進セラルヘキモノナシ隨ツテ本項竝ニ他ノ項ニ就テモ排水ニ關スル慣習ハ更ニ認メス

高知縣

一 吾川郡八田村字奥田ニ於テ面積二十五町歩ハ毎年十一月月上旬ヨリ翌年四月上旬迄水路堰止メノ慣習アリ之ヲ開放セハ乾田トナリ紫雲英ヲ栽培シ得ルコト、ナリ利益増進セラルヘキモ前記慣習ヲ破ルコト困難ナリ

二 高岡郡日下村本郷字坪栗田三町歩ノ排水ハ同所岡端ナル井ノ峯川ノ底ヲ通過シ加茂村字杉ノ端ニ通ス其下流ノ溝幅甚狹隘ニシテ霖雨ノ場合ハ其ノ水停滯シ損害ヲ被ルコト尠カラス然ルニ之ヲ改修セントスルモ關係地主ノ同意ヲ得ルコト難キヲ以テ舊慣ノ儘トナリ居レリ

福岡縣

一 三井郡大堰村大字三川同菅野ノ一部本同郡本郷村大字榮田ノ一部及朝倉郡福田村ノ一部ハ洪水多キ土地ニシテ之レカ豫防法トシテ同村地内ニ又川筋(床島甲水路地下)ノ底樋ヲ擴張シ其下流ノ改修ヲナシ排水ノ方法ヲ行フニ於テハ其被害ノ幾分ヲ免レ得ヘキモ右河川ノ下流ナル大堰村大字西原ニ於テ右排水ヲ拒ムカ爲完全ニ排水ヲナス能ハス

二 三藩郡犬塚村字生石五十三町歩ノ地ハ排水不充分ニシテ屢々水害ヲ蒙ムルヲ以テ排水ヲ適當ナラシメンニハ大溝村ノ内笹瀬、江上村青木村ノ官有堀ヲ通路トシ排水ヲナスヲ至便トスルモ該村ハ此ノ要求ヲ拒ム爲排水上困難ヲ感セリ

三 同村江上村二百七十町歩ノ排水ハ青木村三又村ヲ貫通セシメ筑後川ニ排水セシムルヲ適當トスルモ權利者タル青木村三又村ニ於テ之ヲ承認セサル爲排水充分ナラス

大分縣

- 一 西國東郡中真玉村濱古屋敷一毛作田五畝步
 - 二 同郡同村常盤九ノ坪竝ニ城ヶ下約五町步
 - 三 同郡同村字庄屋矢垣重吉約一町步
 - 四 大分郡別保村大字森ノ外三ヶ所約四十三町七反步
 - 五 南海部郡木立村字新洞約五町步
- 以上ノ箇所ハ地主中或一部ニ於テ不同意ヲ唱フルモノアルカ爲之カ起業ヲ拒ミ施工ノ運ヒニ至ラサ
リシ尙前記以外ノ郡ニ於テモ同様ノ箇所多クアルヘキモ大同小異ノ状態ナルニヨリ掲記セス

熊本縣

- 一 飽託郡壽圖村大字下無田反別二百町步ハ年々多少水害ヲ免レス之ヲ除却スルニハ同郡力合村大字八幡字落口三反樋ヲ解放スルニ在ルモ右三反樋下流關係者カ地盤低キ故ヲ以テ之ヲ拒ムモ適當ナル設備ヲナスニ於テハ實行困難ニアラス
- 二 玉名郡滑石村前川附近ハ現今田地ナルモ一朝洪水ニ際會センカ菊池川ヨリ逆上スル濁流ト境川ヨリ流下スル惡水ハ茲ニ出會シ忽チ同川井樋以北ノ水田ニ氾濫シ約三十五町步ノ田地浸水シ被害大ナリ之カ救濟策トシテハ境川ヲ其上流ヨリ菊池川ニ注カシムルニアルモ彌富村等境川ノ關係者ニ於テ

反對アル爲實行困難ナリ

- 三 下益城郡杉上字水利組合ニ於テハ排水困難ノ模様ナルモ隣接下流村守富村ハ稻田水不足ノ状態ニアルヲ以テ前者ヲ後者ニ利用スルヲ得ハ雙方ノ利益多大ナランモ未其運ニ至ラス此ノ反別五百八十餘町步アリ

宮崎縣

番號	所	在	附	記
一	宮崎廣瀬下那珂	深草、下山 伊賀給	約町 一五、〇〇〇〇	

- 一 本地區ハ古來石崎牟田ト稱シ濕潤不毛ナル所トシテ何人モ願ミル者ナカリシカ數年前其一部ヲ開墾シ排水ヲ爲シタル結果實ニ良田ヲ生シ土地ノ利用ヲ増進セシコト少ナカラス依ツテ三字ニ跨リ是カ排水ヲ行ヒ開墾シタラムニハ一富源タルモ下流(下流ハ本濕潤地ノ湧水ヲ用水ニ供シ居レリ)故障ノ爲メ排水ヲ爲スニ至ラス依テ適當ナル排水ヲ求メテ利用増進ヲ計ル等調査研究スヘキ箇所ナリトス

第四 排水ノ方法ニ關スル慣習ニシテ不適當ナリト
認ムル實例

東京府

- 一 南葛飾郡ニテハ悪水汎濫ノ場合ニ南足立郡ノ關係町村ニテ本郡龜青村大字砂原字穴ノ口以テ開ク舊慣存スル爲メ下流ノ南綾瀨村ノ如キハ不時ノ水害ヲ蒙ルコトアリ
- 二 北多摩郡小金井村大字小金井字小長久保、同大字小金井新田龜久保、同大字梶野新田ニ涉ル窪地ニシテ武藏野村境ニ連ル地區ノ面積約二十四町步アリ右ノ地區内ニテハ小金井村、武藏野村地内ニハ排水路アルモ三鷹村地内ニハ排水路ノ設ナキ爲メ出水ノ場合ニハ水路汎濫シ田畑山林ニ被害アリ
- 三 北多摩郡三鷹村字橋下南裏及上連雀、孤久保南裏ヨリ湧出スル悪水ハ字牟禮ニ流下シ耕地、山林等ニ被害アリ此ノ地區ノ總面積十七町步餘アリ

大阪府

- 一 西成郡西中島村大字淡路ノ所屬ニ中島大水道普通水利組合ノ管理ニ屬シ上流大道中島、新庄豊里、西中島各村ニ於ケル一部ノ面積約四百六十五町步ノ悪水ヲ排除セシムル樋管アリ延寶五年該水道開

鑿ノ當時ヨリ今ニ至ルマテ三晝夜交替ト稱シ三晝夜ハ該樋管ヲ開放シテ上流ニ停滯セル悪水ヲ排除シ三晝夜ハ之ヲ閉鎖シテ下流ニ溜溜セル水ヲ疏通セシムル慣習アリ故ニ連日降雨ノ際ト雖徒ニ右慣習ヲ墨守スル爲メ上流ノ稻作ハ例年腐蝕ノ害ヲ被レリ加フルニ該樋管ヲ距ル約六百間ノ下流ニ原門樋ト稱スル戸堰アリテ古來ヨリ夏期ニ際セハ常時差板ヲ以テ水位ヲ高メ附近ノ灌漑ニ充ツルノ慣習アルカ爲メ上流ノ部落ニ在テハ降雨少ナキ時ト雖往々浸水ノヲ被ムルコトアリ以上ハ舊幕府時代ヨリノ慣行ニシテ現時ニ於テハ淀川ノ改修ノ結果水害ノ狀態昔時ト異ナルニ拘ラス從來ノ慣習上今俄ニ之ヲ改ムルコトヲ得サルモノ、如シ

- 二 三島郡玉櫛村ヲ貫通スル悪水路ハ其上流各村ノ悪水ヲ受クルヲ以テ一朝豪雨ノ際ハ忽チ汎濫シ約百餘町步ノ耕地ヲ浸害セシメ而シテ其下流ニ宮島村所屬ノ門樋川ナルモノアリ該川ハ宮島村ニ於テ何等ノ利害關係ナキニ拘ラス同村ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ上流ノ村落ニテ浚濶ヲ行フ能ハス然ルニ同村ハ容易ニ之ヲ許サスシテ單ニ毎年二三回宛水路ノ藻荇ヲ認容スルノミナルヲ以テ年々土砂滯積シ排水ニ支障ヲ來ス結果玉櫛村所屬耕地(約百町步)ハ浸水ノ損害ヲ蒙ルコト尠少ナラス

兵庫縣

- 一 長谷村ノ耕地及關係隣村(倉見村)約六十町步ノ耕地ハ排水不良ノ爲メ悪水停滯スルヲ以テ暗渠ヲ設

置シテ之カ改善ニ努メツ、アリト雖其惡水ハ集合シテ神美村ノ内上鉢山村所屬字兩健ニ流出スルモノナレハ上鉢山村ハ茲ニ水門ヲ設置シ之ヲ上鉢山村耕地ノ水源トナスニアリ然ルニ此水門タルヤ狭少ナルヲ以テ折角ノ長谷村暗渠モ其効果ヲ認ムルニ至ラス常ニ水鳥游泳スルノ實況ナリ

埼 玉 縣

北 埼 玉 郡

一 村君村大字常木、中谷耕地ハ中央ニ三田ヶ谷村大字三田ヶ谷字三軒川岸堰門ニ通スル中谷落ト稱スル排水路アレトモ該堰門終始閉鎖ナシアリ霖雨連日ニ亘ルコトアルモ大字常木ヨリ開放ノ要求ナキ爲メ少シモ開門スルコトヲ得ス從テ右中各耕地ハ惡水停滯シ明治四十三、同四十四、大正二年ノ如ク水害ヲ蒙ラサルコトナシ

北 足 立 郡

二 美谷本村ト笹目村ノ境界ニ水路アリ(笹目村管内)此排水路ヲ使用シ美谷本村大字美女木(面積約百二十町步)大字内谷(面積約百十町步)大字曲本(面積約三十町步)一帯ヲ排水ヲ爲シ得ルニ拘ハラヌ出水ノ際ハ笹目村ハ自村稻田ノ水腐ヲ防ク爲メ下流横曾根村ノ樋ヲ開ク迄該水路ニ敷設シアル土管ヲ閉鎖スルヲ以テ排水スル能ハス

大 野 郡

三 奈良村大字四方寺ト北埼玉郡中條村トノ境界ニ在ル堤塘ハ常時ニ於テハ數個ノ水路堤下ヲ貫通シ之レニ依テ灌溉排水ノ按配ヲナスモ一朝出水ノ際ハ堤外區域ヲ貫流スル福川ハ下流利根川ノ逆流ニ依テ忽チ汎濫ス此場合ニ於ケル前記堤塘ヲ貫通スル水路ハ悉ク閉鎖スルノ慣習ニシテ堤外諸村ノ浸水被害甚多シ之カ根本的改良方法トシテハ利根川改修工事ノ竣成ニ俟ツ外ナカルヘシ

南 埼 玉 郡

- 四 萩島村大字砂原字沼十町七反七畝五步
 - 同村同大字字沼ノ方九町六反二畝廿八步
 - 同村大字小曾川字釣田十一町八反六畝十八步
 - 同村同大字字沖田七町一反一畝廿步
 - 同村大字野島字飛田二町一反二畝七步
 - 同村大字南萩島字沼迎田三十一町四反五畝廿二步
- 計七十二町九反六畝十步

右耕地ニハ惡水路ノ設ケナク慣習上末田大用水ト稱スル用水路ニ排水シ所謂排水兼用ナルヲ以テ排水ノ方法不完全ナリ本耕地ハ耕地整理ヲ施行スルニアラサレハ適當ニ排水スルヲ得サルモノト認ム

五 八條村大字伊草、松ノ木、小作田、立野堀及八幡村大字南後谷、柳ノ宮、西袋、上馬場、中馬場ノ悪水ハ同村大字浮塚ニ至リ綾瀬川ニ流下スル爲メ九ヶ村落堀ト稱スル悪水路アリ而シテ該悪水路ノ途中八幡村大字大曾根地内ニ於テ該悪水路ニ土管ヲ埋設シタル箇所アリテ此處ニ上流ノ悪水停滞スルヲ以テ上流ニ位スル九ヶ大字ニ於テハ下流ニ交渉シテ悪水ノ疏通ヲ圖ラントスルモ舊來ノ慣習上相容レサルノ結果常ニ排水不良ノ状態ニアリ

六 清久村ニ於ケル各耕地ハ備前堀、前堀ニ排水ス然ルニ備前堀ニハ江面村大字江面地内ニ堰枳(用水用)ノ設ケアリ前堀ニモ又江面村地内ニ二ヶ所須賀村地内ニ一ヶ所ノ堰枳(用水用)アリテ排水ノ障害ヲ受ケツ、アリ是レ用悪水ノ區分ナク同一水路ニヨルヲ以テ此結果ヲ示シツ、アリ然ルニ一面江面堰枳ハ上流ノ悪水ヲ堰止メ下流區域ノ悪水排除ニ便ナラシメ即チ三箇村河原井沼(面積百五十町步)及清久村大字所久喜、六萬部上清久ノ一部(面積九十町步)ハ此堰枳ニヨリ辛フシテ地水ノ便ヲ得ルモノトス故ニ此堰枳ハ上下流ノ關係複雑ニシテ容易ニ撤廢スルヲ許サ、ルノ状態ニアリ

七 小林村字八束、東浦、下後沼、上後沼、沼漕、下沼頭、上沼頭、忠平田、新徳田、谷通、小田、太蘆排水ハ排水不良ニシテ年々稻田ニ冠水シ完全ナル成績ヲ擧ゲ得サル者二百十町步アリ是レ排水ノ本渠タル元荒川カ漸次埋設ノ兆アリテ水位嵩ミタルノ結果ナリトス元荒川ノ浚渫ヲ完全ニ行ヒ其ノ水位ヲ低下スルニアラサレハ之ヲ救フヘキ途ナキ者ト認ム栢間村ニテモ亦小林村ニ接續セル大字下栢間字

埜ノ田、上栢間字太蘆、道明、上在來、柴山技郷ノ六十餘町步ハ小林村ト同一ノ状態ニアリ

千葉縣

- 一 甲第三項一參照
- 二 甲第三項二參照

茨城縣

一 福岡堰水利組合地内ナル久賀村ハ上流地ノ悪水ヲ堰キ用水ト爲ス是カ爲メ上流三島村ハ洪水害ヲ被リ例年出水期ニ於テ争鬭ヲ起セリ

三島村ハ久賀村ノ上流ニ在リテ兩村界ニ高サ十四五尺ノ足高堤塘ヲ以テ界セラル此附近ニ於ケル地盤ノ高低ハ三島村ハ久賀村ヨリ低ク又三島村用水ハ殆ト台通用水路ナル高キ用水ニヨリ灌溉セラレトモ久賀村用水ハ總テ上流九ヶ村ノ排水ニ俟タサルヘカサルノ慣習ニシテ組合規約トシテ五日間中堀ナル上流ヨリ來ル悪水路ヲ堰キ止メ是ヲ導水シ次五日間ハ全ク斷水スルノ慣例トナレリ然ルニ三島村ハ久賀村ヨリ低ク前記中堀ハ三島村唯一ノ悪水路ナルニモ拘ラス久賀村用水ニ堰キ止ムルカ爲メニ三島村ノ大部分ハ全ク排水ノ途絶ニ出水期ニ際シテハ忽チ洪水害ヲ被リ又旱魃ニ際シテハ五日番水ノ如キ長日間斷水スル久賀村ハ到底旱害ヲ免ルコト能ハサルヲ以テ相互自己ノ利益ヲ計ラン

カ爲メ此規約ヲ破ラントシ争鬭ヲ爲スコト屢々ナリ是レ畢竟規約ノ適當ヲ缺ケルニ由ナラン

岐 阜 縣

一 養老郡小畑村大字江月及高田町大字鳥江ハ土水極メテ低位ニシテ一朝大雨ニ遭遇スルハ忽チ田面ニ浸水ス此ノ地積ハ鳥江六十二町六反餘歩江月六十二町九反餘歩ナリ

地水方法ハ牧田川底、田面ヨリ高キ爲メ同川ノ根底ニ伏設樋管ヲ設置シ笠郷村大字栗笠、船附及大野ノ三大字ヲ經テ牧田川ニ排泄スル事トナリ居レリ

然ルニ伏設樋管ノ開閉ニ關シテハ右三區ニ於テ處置スヘキ權利ヲ有スル慣習ナルヲ以テ旱水ニ於テハ常ニ上二大字ヨリ用水ノ供給ヲ仰キツ、アリ然ルニ一朝多量ノ雨水ヲ齎セル場合ニ於テハ右扉ヲ閉鎖シテ容易ニ開放セサルノミナラス種々困難ナル希望ヲ陳ヘテ應セサリシカ如キ状態ナリシヲ以テ遂ニ去ル四十五年區民一同熟議ノ結果江月、鳥江共同惡水排除ノ安全ヲ期スル爲メ水利組合ヲ設立スル事ニ協定シ三千圓ノ賠償金ノ許ニ因襲ノ久シキ古來ノ民約ヲ解除セシ事ニ一時決定シタルモ尙今以テ時々難事ヲ醸シ米、麥、紫雲英等溜水ノ爲メニ被害ヲ受クル事一再ニシテ止マラス畢竟スルニ目下ノ急務ハ寸時モ早ク此等諸種ノ舊約ヲ解除シ永久ノ安全策ヲ講スルニ在リ

宮 城 縣

一 甲第三項ニ參照

福 島 縣

一 甲第三項ニ參照

二 同五參照

青 森 縣

一 北津輕郡々内一般上掛堰ノモノハ下掛堰(下水)ニ關セス自由ニ排水シ其弊多シ

福 井 縣

一 丹生郡十郷堤防水害豫防組合區域中天津村及三方村ノ耕地ハ一般低濕ナルカ爲メ一朝豪雨ニ際會セハ一面水溜ニ化シ日野川ノ減水ヲ俟ツニアラサレハ排水シ難キニヨリ三方郡三留地籍ノ志津川堤塘ヲ切開キ以テ一時ノ排水方法ヲ講セリ

石 川 縣

一 排水ニ關スル慣習ニシテ特ニ記載スヘキ例ナキモ本縣ニハ柴山、木塙、今江、邑知、河北ノ五大

湖アリテ降雨ノ際湖水漲溢シテ沿湖水田ヲ水腐ニ歸セシムルコト屢々アリ右ノ内柴山潟ハ既ニ水害豫防組合ヲ設ケ目下疏水事業施行中ニシテ其ノ他ニ在リテモ夫々之カ救済策ノ講究中ニアリ

岡山縣

一 吉備郡箭田村附近高梁川堤塘以西即チ三ヶ村組合水害豫防組合區域中惡水排除ノ工事ヲナセルモ土地ニ依リテハ排水著シク差違アル如シ等シク組合區域ニシテ而モ均一ノ組合費ヲ負擔シ如上ノ状態ナルハ遺憾トス

廣島縣

沼隈郡

一 瀬戸村大字長和字嫁田部落耕地ニシテ從來用水ヲ取りタル蘆田川ノ水路土砂ノ爲メニ埋没シタル爲メ瀬戸川ヨリ反別六町餘歩ニ逆水浸入シ來リ年々稻作不熟ヲ生シ困難ヲ感スルコト尠カラズ故ニ先年地主ヨリ堤防ヲ築造セント企畫セシコト二三回ニ及ヒシモ佐波村ハ其ノ接近地ヘ支障スルコトヲ主張シ彼是相拒ミシ事アリ然ルニ現ニ佐波村界ニ小道及堤防アリ其處ニ古來字嫁田字一町田部落ノ惡水貫キ樋門アリ其樋門明治二十年頃破損シタルヲ以テ其修繕及ヒ堤防増築ノ計畫アルモ双互ノ協定調ヒ難シ尤モ瀬戸村ニ於テ右嫁田内ヨリ佐波村地内瀬戸川堤南側通リ耕地幅一間五合ヲ貫通シ

テ其川下(神社島居前橋ノ元)排水スルハ佐波村ニテモ不便ヲ感スル事ナクシテ將來兩村ノ便利ヲ得ルモノト見込ム

二 甲奴郡ニ於テハ排水溝ナキタメ田ヨリ田ニ水ヲ稱シ排水スルモノ各町村ニ亘リテ所々ニアリ

福岡縣

一 三井郡大堰村大字菅野區ハ床島用水路(筑後川ノ支流ニシテ每年秋季皇靈祭ニ落水スル慣習アリ)ノ南北兩側ニアリテ其ノ下流約一町ノ間ヲ隔テ、江戸水道ト稱スル南北ノ兩水道アリ近年九月二十四日(秋季皇靈祭)ヲ以テ兩水道ヲ閉鎖シ水道以下流域ノ用水ヲ落シ水道ヨリ上流ノ用水ハ浮塵子發生ノ際ニ備フルタメ一週間乃至二週間位落水ヲ延期スルコトアリ然ルニ此ノ地ハ有名ナル洪水地ニシテ出水ノ際ハ其都度前記ノ樋ヲ閉鎖シ下流ノ水害ヲ防クモ上流ニ於テハ洪水ノ爲稻ノ穂先ヲ浸スコトアリ是畢竟排水其宜シキヲ得サルニ由ルモノト認メラル

第五 水害ノ場合ニ於テ特別ノ慣習ニ依リ惡水ノ排水ヲ爲ス實例

兵庫縣

一 加古郡鳩里村

同村ニ於テハ出水ノ際甚シク浸水スレハ排水ノ爲同村ノ内稻屋村所屬字戸崎加古川堤防五六間ヲ決潰スルノ慣習アリ

埼 玉 縣

一 大野郡別府村ニ於ケル別府沼ノ下流太田村大字上江袋ニ江袋溜井堰用水組合ノ溜井アリ出水ノ場合ハ七間半ノ堰枠上ノ流出スルニ依リ上流ノ耕地ハ排水停滞浸水數日ニ亘ルコトアリ往昔之カ爲メ訴訟ヲ起シタルコトアリ現時ハ堰上數ヶ所ニ水標杭ヲ建設シ平水以上ニ増水シタル際ハ直ニ堰枠ヲ取拂フヘキ協約ナルモ互ニ利害相反スルニ依リ時ニ上流關係者ノ要求ニ伴ハサル結果ヲ生スルコトナキニアラス

栃 木 縣

一 下都賀郡生井村大字白鳥

水害ノ場合ニ前記白鳥ヨリ部屋村大字新波ニ至ル境界道筋長サ三百四十間五尺ノ間ハ之ヲ高フスレハ新波ノ田地ニ湛水シ甚敷之ヲ低フスレハ白鳥ノ田地ニ惡水流下シ兩方利害相反シ紛争スルヲ以テ明治九年相方熟議ノ上道幅ハ六尺ト爲シ高サハ田ノ床面ヨリ一尺乃至一尺五寸ノ規定ヲ作リ之ヲ守

リ居ルカ如キハ特例ト云フヘシ

奈 良 縣

一 磯城郡川東村大字海知ハ明治十七年洪水ノ際山邊郡朝和村大字長柄ヨリ同大字八反田ノ西堤塘ニ(長谷川堤防)ヲ破潰シ流水セシメタル爲メ論争アリ結局海知ノ堤防ニ差支ナキ場合ニ限り該堤防ヲ破潰スルノ條件成立シ今日ニ至ル

三 重 縣

一 水害ニ際シテハ旱害ニ反シ上流惡水ノ流入ヲ防カムトスル方法ヲ講シ例ヘハ或境界ニ存在セル道路若ハ溝渠ノ土揚ヲ窃ニ爲シ上流ヨリ來ル惡水ヲ堰キ止メムトス之カ爲紛擾ヲ醸シタルコト尠ナカラス

愛 知 縣

一 愛知郡天白川本流及支流藤川ノ堤防決潰シ鳴海町ノ田面ヘ惡水浸入スルトキハ扇川通字十目目ハ堤防ヲ切開シテ速ニ其水ヲ水除シ被害ヲ輕減セシム其關係田面約百五十町歩ナリ又同郡扇川本流及支流手越川ノ堤防決潰シ田面ヘ惡水浸入スルトキハ扇川通字下約田ノ堤防ヲ切開ス其關係面積約百町歩ナリ

二 知多郡平田町ニ於テハ惡水排除ニ付古來落濬ヲ開キテ上水ヲ排除スルノ慣習アリ又同郡横須賀町大字高横須賀字御亭堤防ニ於テ洪水ノ節水ノ汎濫スルカ如キ場合ハ堤防ニ落濬ヲ開キ放流スルノ慣習アリ

三 渥美郡田原町大字谷熊ハ昔ヨリ水害ノ場合ニ於テ字宮下高尾ノ二ヶ所ノ堤防ヲ「トギリ」ト稱シテ切開シ排水ヲ爲ス

靜岡縣

一 磐田郡西南部ニ屬スル諸町村ハ地盤低ク唯一ノ排水路タル仿僧川ハ海岸ニ併行シテ遠ク東ニ延ヒ太田川ト合シテ漸ク海ニ注キ勾配極メテ緩ナルヲ以テ排水常ニ不良ニシテ一朝大雨ニ際セハ惡水ノ停滯著シク稻禾ノ水腐ヲ見ルコト屢々ナリ故ヲ以テ大洪水ノ場合ニ於テハ稀ニ長野村較島ニ於テ沙除堤防ヲ破壊シ排水ヲ圖ルノ例アリ、然レトモ是レ非常手段ニシテ海岸ノ部落ハ爲メニ潮水浸入ノ危険ヲ蒙リ時ニ紛擾ナキニアラス昨今此ノ地方ニ水利組合カ或ハ耕地整理組合ヲ設ケ完全ナル設備ヲナシ以テ根本的救濟策ヲ講セントシテ専ラ協議ヲ重ネツ、アリ

二 引佐郡中川村ハ村内ヲ貫流スル河身ノ屈曲甚タシク一朝大水ノ際ハ排水不良ナルヨリ破堤ノ爲メ兩沿岸ノ被害不尠故ニ該堤防ノ保護上嵩置腹付工事ヲ施行セントスル事アルモ常ニ兩岸利害相反ス

ルニ依リ隣佑知己ノ間ト雖モ紛議絶ユルコトナシ又延テハ下流氣賀町トノ間ニ於テモ排水上ノ利害關係ヨリ寸餘ニ過キサル嵩置ニモ爭議起リ互ニ敵視スルノ状態ナリ又往昔都田川上流都田村ニ於テ用水引入ノ爲メ堰堤ヲ設置セシコトアリシ際ニ於テ中川村ハ之ニ反對シ且撤去ヲ請求シタルモ容易ニ和議成ラス終ニ領主ニ訴ヘ江戸幕府ノ裁許ヲ得テ撤去シ得タリト云フ實例アリ
右ハ別ニ慣習ト云フニハアラサルモ目下之カ根本的ニ解決策トシテ耕地整理ヲ施行セントシ不日調査ニ着手ノ豫定ニ付特ニ記述セリ

三 周智郡宇刈村春岡ニ於テハ徳川幕府ノ初期ノ昔ヨリ春岡地内ノ土地所有者全部ニ夫役ヲ課シ毎七月一日ヨリ宇刈川ヲ四區ニ分チ其ノ堤防ノ雜草竹木ヲ刈リ取り（川中ニアリテ鎌ニテ刈リ得ヘキ範圍）又藻寄洲ノ取拂等ヲナシ惡水排水ノ爲メ特ニ慣習ヲナス

長野縣

一 上水内郡神郷村南郷水害ノ場合惡水排除ニ付本地邊ノ排水ヲ施行スルトキハ下流字石、豊野ニ於テ惡水停滯シ又ハ堤防決潰等ノ虞アルヲ以テ之レカ施行ニハ下流部落ノ同意ヲ經ヘキ規約アリ

山形縣

一 東田川郡長沼村ハ藤島川京田川ノ中間ニ在リ同村ノ西北隅ニ至リ兩川合シテ更ニ京田川トナル兩川ノ水防堤塘ヲ以テ同村ヲ圍繞ス而シテ洪水ノ際停滯セル水ヲ排除センカ爲村ノ北端宇大鑄谷地内堤塘十五六間ヲ切開スルノ慣習アリ之カ喰良策トシテ逆水門ヲ設置スルヲ最良策トスルモ未タ其ノ計ニ出テス

福井縣

一 足羽郡木田村山奥約六十町餘ノ耕地ハ三方山岳ヲ以テ圍マレ上流ノ一方ノミ開放セラレ居ル土地ニテ排水上常ニ困難セル地域ナリトス而排水ハ「トンネル」ニ依リ山ヲ貫キ社村福外五大字ヲ經テ足羽川ニ放流セラレ、モ降雨ノ際田面六寸五分以上ノ出水ニ達スルトキハ錠ヲ閉テ通水セシメサル契約アリ

二 遠敷郡瓜生村下吉田ノ用水源ハ鳥羽谷川ニ堰ヲ設ケ導水セルニヨリ豪雨ニ際シテハ爲メニ該川漲溢シ上流鳥羽村山内外一大字ニ水害ヲ與フルニヨリ山内外一大字ハ堰ノ材料ヲ提供ス

鳥取縣

一 西伯郡大幡村大字吉長村地内蚊屋井手ト豊田井手トハニハ水害ノ場合其ノ一方ニ被害アリト認ム

ルトキハ相互ニ援助シ合フノ慣例アリ

岡山縣

一 都窪郡帶江村大字帶高ニ於テ澤所ノ惡水汎濫セシ場合ニ於テハ字新橋服堤防ヲ切開キ之ヲ流下セシム同郡早島町大字前潟ニモ同様ノ慣習アリ

徳島縣

一 那賀郡今津浦村同村大字今津浦村大字色ケ島村及大字江ノ島村ハ雨期ニ際シ降雨田面ニ汎濫シ普通ノ吐出口ニテ排除困難ナリト認ムルトキハ干潮時ヲ見計ヒ村民總出ニテ堰ヲ切開キ排水ヲシテ速カナラシム慣習アリ

第六 排永ニ關スル訴訟ノ實例

神奈川縣

一 乙第四項一參照

同 二參照

埼玉縣

一 北葛飾郡田宮村大字竝塚横手ニ關スル協約及ニ合半領不動堀ニ關スル訴訟該協定書及訴訟議定書次ノ如シ

協定書

北葛飾郡田宮村大字竝塚横手ノ義ハ古來論所ト唱ヘ上下屢紛議ヲ重ネタル箇所ニシテ則チ論所ケル所以ノモノハ上手田宮村大字佐左衛門ニ於テハ此ノ横手ヲ高カラサラシメントシ之レニ反シ下手ナル同村大字竝塚ニ於テハ之ヲ高カラシメントシテ互ニ意志ノ存在ヲ異ニセルニアリ

偶々客年八月申有ノ大洪水ニ際シ減水後横手通行上洗滅リノ爲メ不便ヲ醸シタルニ之レカ便ナラシメントシ地先ナル大字塚ニ於テ修理ノ爲メ置土ヲ爲シタルニ端ナクモ上手大字佐左衛門ヨリ古來ノ規約書ニ徴シ修理工事ヲ施行シタルハ穩當ナラサルニ因リ之レカ撤回ヲ望ムト同時ニ舊規約ニ準據シ標杭改定ヲ要求セルニアリシニ下手ナル大字竝塚ニ於テハ通行上修理施設ヲ爲シタルニ止マリタルモノナリト云フニアリテ茲ニ再ヒ上下ノ紛争ヲ惹起セルニアリ此時田宮村長村ノ平和ト安寧トヲ保持センカ爲メ斡旋ノ勞ヲ取り茲ニ寬延安永ノ規約書ニ準據シ左記條件ヲ協定ス

- 一 横手ハ現形維持保存スルヲ以テ目的トス
- 一 横手ハ前項ノ目的ヲ達センカ爲メ標杭ヲ高低ノ箇所ニ併置スルモノトス
- 一 標杭ヨリ標杭迄ノ間ハ前後左右トモ標杭ヲ基準トシテ之レニ倣フコト

一 横手堀及桶樋分水路淺深土ハ堆積セシメサルコト

一 横手ハ總テ標杭ヲ基準トスルカ故ニ缺崩ハ勿論低減セル時ハ復舊修理ヲ爲スコトヲ得

但シ此場合ハ上手大字佐左衛門ノ立會ヲ必ス求ムルコト

一 横手堀ノ淺深ニ付テハ明治九年ノ規約ニ則リ大字竝塚ニ於テ二ヶ年大字佐左衛門ニ於テ一ヶ年交代ノ約ヲ以テ淺深スルモ堀中杭ハ堀敷定杭ナルニ因リ之レヲ定規トシテ淺深シ苟モ互ニ故意ニ低下セシメサルコト

但シ定杭ハ此際腐朽ノ程度ヲ審査シ添杭ヲ打立ツルコト

一 安月落吐及神扇落吐ニ付テハ伏替ハ勿論修理等ノ場合ハ地元ナル大字竝塚ニ必ス立會ヲ求ムルコト

但シ上下手共双方ニ於テ工事立會ノ要求アルトキハ必ス之レニ應シ工事ヲシテ遷延セシメサル事

一 大字佐左衛門大字竝塚トノ境界ハ此際同時ニ改定スルコト

一 横手ニ要スル標杭ハ永遠耐久ナラシメンカ爲メ石材ト爲シ存置スル事

但標杭上端ハ地下二寸ニ生込ムコト

一 標杭ノ位置ハ別紙圖面ニ詳記スルコト

一 標杭購入代及生込費用ハ總テ双方ニ於テ均等ニ負擔スルコト

一 本協定書ハ三通ヲ製シ一通ヲ村役場ニ備置キ外二通ハ上下互ニ一通ツヲ保有スルモノトス

右ノ通り協定候ニ付署名捺印致置候也

明治四十四年四月八日

北葛飾郡田宮村大字佐左衛門

地主總代及區長連印

同郡同村大字竝塚

添付書

地主總代及區長連印
同郡同村大字才羽區長印
同郡同村大字北蕨沼區長印
同郡同村大字大塚區長印
同郡同村大字長印

四百五十四

北葛飾郡田宮村大字並塚橋手標杭位置定ムルコト左ノ如シ

一 標杭ハ四ノ方安戸落吐叭樋管裏男柱中心ヨリ六間ヲ離レ生込ミタルモノヲ一番杭トシテ順次東方添リ神廟落際十四番杭ニテ終ル其杭ヨリ杭ニ至ル間隔ハ左記ノ通り

- 一番杭ハ前斷ノ通り
- 二番杭ハ一番杭ヨリ四十間目ニ生込ム
- 三番杭ハ二番杭ヨリ四十間目ニ生込ム
- 四番杭ハ三番杭ヨリ四十間目ニ生込ム
- 五番杭ハ四番杭ヨリ四十間目ニ生込ム
- 此五番杭ヨリ溜井堀中心迄二十三間
- 六番杭ハ五番杭ヨリ四十間目ニ生込ム
- 此六番杭ハ並塚字北浦迄道際東端
- 七番杭ハ六番杭ヨリ三十四間目ニ生込ム
- 此七番杭ハ左衛門道際東端

八番杭ハ七番杭ヨリ三十間目ニ生込ム
九番杭ハ八番杭ヨリ三十四間半目ニ生込ム

此杭久野橋際東端

十番杭ハ九番杭ヨリ四十一間二分目ニ生込ム

此杭桶樋橋手橋中心トス

十一番杭ハ十番杭ヨリ二十八間目ニ生込ム

此處ニケ所生込ニシテ一間ヲ隔テ併置ス

十二番杭ハ十一番杭ヨリ二十八間目ニ生込ム

此處ニケ所生込ニシテ一間二分ヲ隔テ併置ス

十三番杭ハ十二番杭ヨリ二十間目ニ生込ム

十四番杭ハ十三番杭ヨリ十二間目ニ生込ム

此杭並塚廣戸橋中心迄八間半トス

圖面ハ本明細書ニ代ヘ略ス

右之通り相定候上ハ總テ標杭ヲ基準トスルカ故ニ越水ノ場合ト雖モ上下相互ニ防水致間數候也

明治四十四年四月十四日生込

北葛飾郡田宮村大字佐左衛門區長印
同郡同村大字並塚區長印
同郡同村大字長印

明治四辛年

爲取替議定證文

寫

四百五十五

未五月四日

爲取替議定書之事

一 宇不動堀組幸房村外五ヶ村長沼村外十二ヶ村引合ニ相成候一件寶曆年中嘉永二酉年爲取替議定有之候處追々規則モ相欠ヶ候場合モ有之殊ニ年々霖雨打續候氣候モ有之候ニ付十三ヶ村組合ノ儀ハ流末一體低場ニ付植付候稻草水冠ニ相成難達至極仕候ニ付耕地柄爲御見分

小菅縣御役所へ奉願上候處御出役被爲在就テハ若六仕村組合ノ儀モ十三ヶ村同様ノ儀有之處欠井堀向字仕組道木田村々ニ候哉不動堀水縁モ無之場所へ大耕地ノ惡水被切流且ハ用水不用ノ水等モ同様ノ儀一體不取締ノ様成行候ニ付右等ノ儀モ御出役様ヨリ双方御利解奉請依テハ先議定ヲ相守不申候ニハ第一治方ニモ相拘候儀ニ付猶今般改テ議定爲取替左ニヶ條ヲ以取極候事

一 茂田井村地内字曲尺手橋へ新規堰粹一ヶ所取立候事
但右堰粹ノ儀ハ霖雨等有之田面地深井ニ不相成様川意ノ儀ニ付不用ノ節ハ切六ヶ村ニテ可至候事

一 市助村地内字立會橋へ新規堰粹一ヶ所取立候事
但大雨等有之用水瀉澤致シ猶打續雨天ノ節ハ鎌倉村地内吐出坑逆水ニ不拘双方立會相談ノ上切錠ヲサロシ封印致シ自儘ノ取計モ決シテ致間敷候尤未流惡水落方ニ相成候テ迅速開戸可致候平用水引入方ノ儀ハ六ヶ村組合勝手次第ノ事

一 立會橋下用水土手東西共切流シ箇所等無之様相互ニ心付見廻リ等精々致シ難達ニ不相成様可取計尤六ヶ村ノ儀ハ別段東土手心付小前末々迄能々申諭置可申西堤ノ儀地元村へ掛合早速築留サセ可申候事

一 幸房用水西耕地仕組道ノ儀今般定軌道巾築足致度就テハ六ヶ村ハ勿論不動堀組合一同ニテ願立可仕水田惡水不被切流様仕續見廻リノ儀モ一同致築足シノ儀モ同斷盡力可致候事

一 嘉永二酉年及引合候節爲取替議定ノ儀ハ今般改リ候トモ先般議定ヶ條ノ通り一同無異失聊不都合ノ儀無之様念度相守可申候事

前書箇條ヲ以テ熟議取極候上ハ更ニ忘却不致廉々念度相守兩組共誠實協心ヲ以テ萬端取計ヒ可申候依之爲取替議定一札如件
明治四辛未年五月四日

武州葛飾郡

- 長沼村
- 一木村
- 横堀村
- 鎌倉村
- 樋口村
- 大膳村
- 戸ヶ崎村
- 前谷村
- 寄卷村
- 久兵衛村
- 下新田村
- 長戸村
- 小向村
- 八町堀村
- 市助村
- 谷中村
- 幸房村

四百五十七

四百五十六

長沼村外十二ヶ村
幸房村外五ヶ村

岸ノ木村
茂田井村

右

名主、組頭、百姓代連名

前谷村

堤防取締役取扱者

戸ヶ崎村

觸元役取扱者

道庭村

同 上

嘉永二酉年六月

議定書

爲取替申議定之事

三册之内

一 不動堀出水致シ幸房用水堀續流未兼倉村地内吐口ヨリ逆水押上候節ハ下郷ヨリ幸房組へ沙汰及ヒ水元彦成村地内字箕輪以極陸築ニ致シ同ク茂田井村地内曲尺手橋際ニテ築留幸房村ヨリ谷口村ニ及ヒ沙汰谷中六助立會候亦長沼村地内石橋際並前書錄倉村地内吐出口都合五ヶ所堀上ヨリハ切候筈尤箕輪以極曲尺手橋ニヶ所ノ儀ハ幸房村外六ヶ村ヨリ諸邑人足共差出シ立會橋ハ谷口村外七ヶ村ニテ前同様諸入用人足共取賄其餘石橋際井吐出口兩所ノ分ハ長沼村外十二ヶ村ニテ相仕立夫々持場限リ取計ヒ候筈取極候事

一 茂田井村外四ヶ村地内字掛井堀向耕地之儀居村敷不動堀へ悪水吐落候テハ不領ニ付殊ニ先例モ無之候間用水堀續流倉村地内

へ自愛ヲ以テ吐落可申事

一 不動堀減水致シ吐口ヨリ逆水不相成候様罷成候朝ハ早速立會見届ノ上同所ヨリ順ニ上ノ方へ取外シ可申候尤右ハ切箇所ニ取拂人足ノ儀ハ最初ノ通り持場限リ差出シ可申筈尤右堀筋ノ儀ハ是迄仕來リノ通ニテ向後萬端相談ノ上諸事取計可申候事

一 幸房村用水通面圍ノ内字谷中市助立會橋ヨリ長沼村石橋際迄凡長八百間餘ノ場所破損等モ有之候ニ付地先村限リ上置致シ候筈尤高サ田面ヨリ二尺馬踏四尺左右法リ五分ニ築立皆出來ノ上ハ組合村々ヨリ沙汰及ヒ是亦見届ケ猶此上共減所破損等出來候節ハ早速地先限リ取繕ヒ大破不及候様心付可申事

右ハ花和田村外七ヶ村ヨリ長沼村へ相掛リ候同村地内ニテ右用水堀圍留致シ候一件

御支配御役所ニ於テ御糺申双方得ト掛合ノ上前書箇條ノ通り一同取極メ違變無之タメ別紙繪圖面相添爲取替議定依テ如件

嘉永二酉年六月

武州二郷半領

花 和 田 村
 谷 口 井 村
 汪 井 村
 境 木 村
 三 九 村
 前 川 村
 長 沼 村
 一 本 村
 寄 木 村

茨城縣

一 十和村堤塘撤去ノ訴訟

筑波郡福岡堰水利組合地内十和村大字上長沼、下長沼ノ兩字ハ明治四十四年八月出水ノ際兩字界ニ於ケル堤塘ノ撤去ニ付キ忽チ一場ノ騷擾ヲ起シ訴訟ヲ提起シテ多額ノ資財ヲ投シテ相爭フコト茲ニ數年末タ解決ヲ見ス

是レ常識ヲ以テ見ルモ訴訟ヲ以テ満足ナル解決ヲ爲シ得ヘキモノニ非ス其ハ下流下長沼カ水害ヲ免レントシテ堤塘ヲ現存セハ上流上長沼ハ灌水害ヲ被リ又上長沼是レヲ免レントスレハ下長沼村水害ヲ被ルニ到リ兩者相容レサルノ當然ニシテ無理ナラサルナリ然レトモ若シ是レカ排水ノ適當ナル方

法ヲ施サハ直ニ解決ヲ見ル敢テ難キニ非ラサルナリ
今土地ノ狀況ニ付キ是レヲ見ルニ下流下長沼ヨリ上流約四百町歩ノ惡水ハ同所唯一ノ惡水路中堀ニ集注シ平時ニ於テ漸ク流下シ得ヘキモ若シ大雨來リナハ忽チ兩岸ニ溢水シ上流ノ惡水ハ下流耕地

名 年 百 振
姓
主 寄 代 人
運 名

右 彦 大 八 市 谷 幸 岩 茂 戸 前 長 樋 小 上 久 高 横 鎌
成 膳 助 中 房 ノ 田 ケ 戸 ノ 新 兵 須 堀 倉
村
四百六十

面ヲ押シ流スヲ常トス然レトモ近來水害ヲ被ルコト頗ル多ク下流ノ到底忍ヒ得サルモノアリテ上流
惡水防禦ノ爲メ遂ニ水路以外ノ耕地ニ高一、二尺ノ堤塘ヲ設クルニ到リ是カ爲上流ノ惡水ハ水路以
外ニ排水シ能ハサルヲ以テ永ク停滯シ水害ヲ被ルニ到ル之レ畢竟中堀排水路ノ横斷面狹少ニシテ排
水ノ組織完全ナラサルカ爲ナリ然レトモ若シ夫レ既ニ企畫セル耕地整理ヲ施サハ容易ニ是レカ解決
ヲ見ルニ至ルヘシ

岐 阜 縣

一 本巢郡船木村十七條ニ約十町步大字十八條ニ約二十町步是等ハ各立會ノ上定杭場所ヲ設置シ契約
條項ノ通り是迄維持シ來リシモノニテ大字十七條、十八條ノ定杭場所ハ大字十八條字一ノ坪ニ在リ
長四十九間定杭三本ニシテ文政十三年寅年八月ノ契約ナリ十八條、十九條ノ定杭場所ハ牛牧村大字
十九條字人前ニアリ長七十間、定杭四本ニシテ安政七年申年閏三月ノ契約ニ係ル此定杭場所ニ關シ
テハ明治二十九年訴訟事件アリ原告十八條ノ申立ハ定杭場所ヨリ約十間ノ下手ニ於テ除桁長九十七
間ノ處ニ定杭ヨリ高キ嵩置工事ヲ施シタルハ排水上定杭場所ヲ無効ナラシムルヲ以テカ取拂ヲ要
求スト云フニアリ被告十九條ハ本件嵩置工事ハ定杭場所ヲ無効ナラシムルヤ否ヤヲ知ラス而モ係争
場所タル無關係ナルヲ以テ被告法人ニ於テカ取拂ヒノ義務ナキ理由ヲ以テ防訴抗辯ヲナセリ明治

二十九年七月三日岐阜地方裁判所第一審判決要旨ハ本訴ハ行政事件ニシテ司法裁判所ノ管轄ニ非ラ
サルヲ以テ之ヲ棄却スト云フニ在リ由テ原告ハ控訴シタルモ中途仲裁者アリテ和解スルコトヲ得タ
リ次テ明治四十二年十九條地内數百間ノ處ニ除桁嵩置工事ヲナシタルヲ以テ上郷十八條ニ於テハ行
政事件トシテ其筋へ請願シタルモ要領ヲ得ス不止得取拂ヒ訴訟ヲ提起セントシ判事ノ出張ヲ乞ヒ實
地檢證ヲ爲シタルモ彼は仲裁者アリテ取拂ヒノ上和解スルヲ得タリ是等定杭ノ場所ニ對シテハ年々
關係者立會ノ上定杭ヲ檢査シ將來ニ維持セラルヘキモノタリ

以上ノ如キ定杭制度ニ依ルモノハ縣下平坦部特ニ稻葉、本巢、養老ノ各郡ニ多數アリ
備考

排水ニ付常ニ紛擾アル地ハ以上ノ如ク定杭ニ依リ之ヲ幾分抑制シ得ルモ多クノ場合係争地ハ村界
字界ノ道路、堤塘又ハ除桁等ニシテ此地ニ固定物ヲ存置スルコトハ將來之ニ耕地整理又ハ用惡水
路、道路、堤塘等ノ改廢修繕ヲ行フ場合ニ之ヲ支配セラル、コト尠カラサルナリ
養老郡池邊村北部耕地整理組合地區内ニ於テモ大字根古地ト大字根古地新田境界附近ニ定杭設置
セラレアリシモ耕地整理ニ依リ排水機ヲ新設シ水道路改廢ノ結果其必要ナキニ至レリ

福 島 縣

一 乙第四項一參照

島根縣

一 簸川郡高濱村

高濱村ニ於テ新内藤川ヨリ古内藤川へ通スル樋門ハ水害ノ際開放スル慣例ナリシカ明治四十年頃高濱村ハ同樋門ノ費用負擔ヲ爲スカ故ニ上流ナル四纏村ヲシテ右開放ヲ爲サシメサル方針ヲ採リ錠ヲ仕付タリ四纏村側ニアリテハ爲ニ約三丁歩ニ渉ル排水不能トナリ右錠ヲ破壊セリ依リテ高濱村ヨリ訴訟ヲ提起セシカ松江地方裁判所係判事及双方訴訟代理人辯護士ノ斡旋ニ依リ和解スルニ至レリ其ノ和解文左ノ如シ

- 一 新内藤川出水ノ際樋斗樋ハ放流セシムル分量砂戸ヲ除キ上方直徑十分ノ三ニ相當スル下方ヲ開放放流セシムルコト
- 一 出水ト稱スルハ被告村(四纏村)地盤ノ堤防ヲ越水スルヲ云フ但シ特別ナル低地ヲ除ク
- 一 前項ノ場合ニハ被告村ヨリ原告村(高濱村)ニ對シ樋戸ノ引上方ヲ請求シ原告村ハ其ノ請求ヲ受ケタルトキハ第一項ノ如ク樋戸ヲ引上ケルモノトス若シ原告村ニ於テ請求ヲ受ケタル後一時間經過スルモ樋戸ヲ引上ケサルトキハ被告村ニ於テ引上ケルコトヲ得
- 一 新内藤川濁水ノ際ニハ兩村方豫メ定メ置キタル委員ノ協議ヲ以テ分水ヲ爲スモノトス但シ協議整ハサルトキハ所轄郡長又ハ双方協定シタル人ノ仲裁ニ依ルモノトス

- 一 樋斗樋ノ修繕又ハ代替ヲ爲ストキハ二日以前ニ被告村ニ通知シ被告村ハ之レニ立會スルコトヲ得
 - 一 被告村ハ樋斗樋ノ原告村ノ所有ナルコトヲ確認スルモノトス
- 此調書ハ法廷ニ於テ讀聞ケタルニ關係人ハ之ヲ承諾セリ

明治四十一年十月三十日

第七 其ノ他排水ニ關スル特別ノ慣習

埼玉縣

一 北埼玉郡騎西町ニテハ曩ニ耕地整理ノ基本調査ヲ了シタルモ地主ノ同意ナキ爲メ整理ヲ實施スルコト能ハス茲ニ於テ大字下崎地主協議ヲ遂ケ明治四十二年以來有租地ヲ幅二尺五寸借受ケ耕地ノ要所ニ排水堀ヲ穿テタルニ其功ヲ奏シ從來二毛作ナキ田地モ現今ハ悉ク紫雲英ヲ播種シ成績良好ナリ而シテ借受タル堀敷地小作米ハ關係區域ノ耕作人ニ於テ負擔シ之ニ要スル實費ニ限り地主ニ於テ負擔セリ秋季紫雲英播種ノ必要上特ニ藻刈堀浚ヲナシ排水ヲ充分ナラシム爾今繼續スル排水事業ナリ之レ將來ノ慣習ト認ムルニ足ル

千葉縣

一 縣下各所ニ散在スル池沼荒澤渺カラスト雖モ農業水利上ニ至大ノ關係ヲ有スルハ蓋シ印旆沼ヲ以テ最トス

印旆沼ハ印旆郡ノ中央ヲ紆紆曲折シテ千葉郡ニ接シ其半水面積四千町歩ヲ下ラサルナリ本沼ハ利根川ノ胃囊ヲ以テ目セラレ一朝利根川ノ出水スルヤ其瀉口タル安食町地先長門川口ヨリ沼内ニ濁水ヲ逆流セシメ相互ノ水位ヲ均フスルニ至ラサレハ止マサルナリ然ルニ沼内ノ低水落差ハ極メテ僅少ニシテ一旦沼内ニ逆流シタル瀦水ハ利根川ノ減水ニ順ヒ再ヒ長門川ヨリ放流セシメサルヘカラサルヲ以テ其ノ排泄ハ極メテ遲緩ニシテ平水ニ復スルニハ少クモ二十日乃至三十日ヲ要ス故ニ一度耕地ニ冠水セシカ其ノ耕作物ハ殆ト水腐ニ歸シテ收穫ヲ見ルコト能ハサルナリ沼ノ沿岸ニ於テ被ル水害ハ利根川洪水ノ程度ニ依リ一定ナラスト雖モ年々多少ノ被害ヲ免レサルナリ是ヲ以テ利根川ノ流量少シク増加センカ忽チ沼水ノ排泄ヲ妨ケラレ爲メニ瀦水増嵩シテ田園邸宅ヲ浸害ス特ニ明治四十三年ノ如キハ實ニ冠水反別四千餘町歩浸水家屋五千三百餘戸ノ多キニ達セリ之ヲ既往十五年ニ平均スルトキハ毎年ノ被害三千六十餘町歩浸水家屋千九百餘戸其ノ損害額少クモ二十萬圓ヲ下ラサルヘシ此ノ損害ハ安食町長門河口開放ノ結果沿岸農民ノ拂フヘキ犠牲ニシテ印旆沼治水問題ノ噴々已マサル所以ノモノ亦故ナシトセサルナリ

今ヤ利根川改修工事ノ進捗ニ伴ヒ長門河口ニ對シ除水ノ途ヲ講セラレシカ雷ニ既墾地ノ被害ヲ免ル、

ノミナラス廣漠タル沿岸荒廢地ノ開拓セラル、面積少カラサレハ農業上ヨリ得ル所ノ利益實ニ莫大ナリトス

茨城縣

一 福岡堰ハ筑波郡福岡村外九ヶ村結城郡大生村外一ヶ村ノ組合ニシテ此面積田二千九百九十五町畑千百町歩アリ堰ハ小貝川三大堰中最上流ニ在リ水量潤澤ニテ組合内ニ入り二條ノ大幹線用水路ニヨリ區域内大部ノ耕地ヲ灌溉ス然レトモ夏季ニ至リ下流三島村附近年々洪水害ヲ被ルコト多キ爲メ上流ニ於テハ此際灌溉ヲ中止シ用水ヲ引キ入レサルノ慣例トナレリ然レトモ上流ハ爲メニ旱害ヲ被ルコト屢ニシテ是カ改善ヲ爲サンニハ耕地整理ヲナシ下流洪水害ヲ除クノ外途ナク是ヲ以テ組合地内三千六百町歩ハ既ニ認可ヲ受ケタリ

愛知縣

一 海部郡神守村大字神守ノ一部ハ隣地ニ比シ地盤低キヲ以テ從來插秧期ニ際シ深水ノ場合ハ干潮時中約二時間其高低地境ニアル樋門ヲ閉鎖シ以テ低地ノ瀦水ヲ排除スルノ慣習アリ
二 美和村大字木田ニ於テハ徳川時代ニ代官所ヨリ同大字關係樋管ノ以守ヲ命シテ取締ラシメ明治ノ初年迄ハ水田ニシテ水深カケレハ何時ニテモ他字ノ排水樋管ヲ閉シテ水田ノ惡水ヲ放流セシメ來リ

タルカ如キモ現今ニ至リテハ如斯權勢ナク常ニ瀦水ニ憂慮シツ、アルノ狀況ナリ

廣 島 縣

沼 隈 郡

一 浦崎村開墾地目變換等ニ依リ新ニ排水ヲ求ムルモノハ加入金トシテ一反歩ニ付金五圓ヲ徵シテ排水權ヲ與フ

蘆 田 郡

二 福相村宇福田才町ハ從來蘆田川有地川兩河川ノ埋没ノタメ排水上大ニ困難ヲ感シタル場所ニシテ種々畫策ノ結果隣村宜山村ノ内大橋區ノ地内ヲ買收シ新ニ三百餘間ノ水路ヲ開鑿シ漸ク其不足ヲ除キツ、アルモ將來費用徵收上確乎タル規定ヲナシ置ク必要ヲ認メ目下其方法講究中ナリ

山 口 縣

一 惡水ノ關係

丘腹部ノ水ハ自然ニ低地ナル溪間部ト干拓地トニ集リ溪間部ノ水ハ多ク河川ニ干拓地ノ水ハ多ク直接ニ放出ス

丘腹部ハ勾配上惡水ノ排除ニ支障少ナキモ低地即チ溪間部ト新開地トハ土地平坦ナル爲メ其ノ上部ト下部トニ於テ惡水排除上ニ就キ支障多ク干拓地ニ於テ特ニ然リ

縣下干拓地ハ瀬戸内海ニ沿ヒ東南二方ニ亘リ其ノ面積一萬數千町步ニシテ管内産米ノ根據地ナリ之等ハ何レモ大約三百年前ヨリ少キハ數町步多キモ三百町步ヲ超ヘサル區域ヲ以テ順次築堤干拓セラレタルモノニシテ其ノ一區域毎ニ有スル築堤ハ漸次干拓地カ海中ニ及フニ從ヒ必要ナキニ至リタルニモ拘ラス新堤決潰ノ場合ヲ想像シテ其ノ儘存置スルモノ多ク其ノ各堤ニ設ケラレタル惡水排除用ノ樋門ハ多ク流域ニ比シ其ノ斷面狭少ナリ之等樋門ノ海潮ノ干満時ト洪雨トノ關係ニヨリ新開田ノ洪水ヲ防ク爲メ一定時ノ間閉鎖スル習慣アリ故ニ潮位高差少ナキ小潮ノ時期ニ於テ洪雨ニ際會スルトキハ新開田ノ低クシテ海ニ接シタル部分ハ惡水ノ被害少ナキニモ拘ラス比較的高地ナル舊干拓地内ハ雨水滯湛シテ稚苗ヲ腐蝕セシメ或ハ穗水ニ浸入シテ收穫ノ大部ヲ減損セシムルコト少ナカラス

大 分 縣

一 大野郡大字中津留、大白谷、伏野ノ如キハ耕地ニ障害ナキ箇所ニ排水溝ヲ設ケ洪水ノ時ハ加減シ水害ヲ防止スルノ慣習アリ

丙 農業水利上ノ不適當ナル慣習ニ對スル改良意見

大阪府

一 現今ニ於ケル用水ノ分配及排水ノ方法ニ付テハ只管舊慣ヲ尊重シ如何ナル惡弊ナリト雖之ニ服從セサルヘカラサルノ状態ナリ故ニ水利權者ニ於テ德義ノ何タルヲ解セス公德ヲ重セサルニ於テハ之カ矯正ノ策ヲ講スルコト容易ニアラス依テ相當法律ノ制定ニ依リ之ヲ解決スルノ外ナシト認ム

群馬縣

一 農業水利ニ關シテハ未タ法律ノ定ナク用水ノ分配引水等ニ慣習ノミニ依リ灌溉排水シ來レルヲ以テ新ニ用水ノ必要ヲ生セル地方ヨリ灌溉水充分ニシテ事實剩餘アル先取水利用權者ニ對シ之カ通水又ハ分水ノ交渉ヲナスト雖容易ニ之ニ應セサルノミナラス甚シキハ絕對ニ之カ交渉ニ應セサルカ如キ例少シトセス故ニ先取水利用權者ト雖自己ノ使用目的ニ支障ヲ生セサル限リハ其ノ引水ニ故障ヲ唱フル能ハサルカ如キハ勿論公益上必要アリト認ムル場合ハ用水ノ利用分配ヲ拒ムコト能ハサルノ法律ノ制定ハ最モ必要ナル事項ナリト思考ス

奈良縣

一 農業水利上ノ不適當ナル慣習ハ今後耕地整理施行ニ依リ幾分ノ改良ヲナシ得ル望ナキニアラスト雖モ積極的ニ此慣習ヲ打破シテ根本的改良ヲ計ルニハ左ノ方法ニ依ルノ外ナカルヘシ

(一) 水利法ヲ制定シ細部ノ法則ヲ記述スル能ハサルモ大要左ノ方法ヲ規定スルコト

イ 現在ノ水ノ使用及排除ニ關シテハ主務大臣及地方長官ニ於テ其認可權ヲ有セシメ全部新タニ出願ニ應シテ其使用權及排水權ヲ認可スルコト

ロ 前項ノ認可ハ從來ノ慣例又ハ調査ノ上之ニ認可ヲ與フルト雖モ認可ノ條件トシテ主務大臣又ハ地方長官ニ於テ使用權及排水權ニ關シ不合理ノ點ヲ發見シタルトキハ此認可ヲ取消スコトヲ得ル條件ヲ付スルコト

(二) 本縣ハ一部ノ地方ヲ除ク外多クハ不合理ノ溜池ニヨリ用水ヲ仰キ其水量少クシテ將來此方法ヲ持續スル事農法上及人心ノ開發融和上不可能ニシテ且ツ不得策ナリ依テ今後合理的ノ溜池ヲ築キ或ハ揚水機其他ノ方法ニヨリ勉メテ用水量ヲ豊富ナラシムルトキハ之レニヨリ水利改善ノ實ヲ舉クルコトヲ得ヘシ

(三) 排水ニ關シテハ第一項ニ依リ解決シ得ラル、モノ多カルヘク殊ニ本縣ハ地上水排除ニ困難ナル地方ハ比較的少シ

愛知縣

一 本縣ニ於ケル農業水利ノ慣習ニ付テハ已ニ記載ノ如シ而シテ之等ノ慣習中不適當ナル者ニシテ未
 タ改良セラレサル者ハ事情種々アルヘシト雖主トシテ農業水利ニ關スル調査ノ未タ充分ナラサルニ基
 因スルハ蔽フ可ラサルノ事實ナルカ如シ故ニ適當ノ方法ニ依リ其調査ノ機關ヲ設ケ現在ノ用水源ナル
 各河川及溪流ノ流量ト其供給ヲ爲スヘキ土地ノ所要水量及他ノ工業トノ關係其他各河川其他ノ集水區
 域ト降雨量及排水量トノ關係ヲ精密ニ調査シ惡水ノ用水ニ利用シ得ラルヘキ程度及現在ノ總水量ヲ以
 テ將來幾何ノ水田ヲ増加シ得ラルヘキヤヲ決定シ以テ用水ノ分配、惡水排除ノ方法、慣習等ニ關シ根
 本的ニ適當ノ改良ヲ施スコト最モ緊切ナルカ如シ然レトモ斯ノ如ク舊來ノ慣習ニ變更ヲ加フルコトハ
 國家ノ權力ニ依ル法律ノ保護ヲ藉ルニ非ラサレハ實行不可能ト認メラル
 之ヲ要スルニ農業水利ニ關シ不適當ナル慣習ノ根本的改良ニ付テハ農業水利ノ調査機關ヲ設ケタルト共
 ニ灌溉排水ニ關スル法令ヲ制定シ之ニ依リ施行スルヲ必要ト認ムルモノナリ

山 梨 縣

一 水利ノ慣習中不適當ノモノニ付根本的改良ヲナサンニハ法律ヲ制定シテ左ノ事項ノ施行ヲ要スル
 モノト認ム

(一) 慣習ニ依ル水利權ニシテ公益ヲ害シ不穩當ト認メラル、場合及天變地異ニ依ル非常災害ノ場

合ニ於テハ官廳ハ必要ニ應シ隨時用水ニ關シ制限ヲナスコトヲ得ルコト

(二) 新ニ公流ヨリ用水ヲ取入セントスル場合ハ官廳ノ許可ヲ經セシムルコト

(三) 前項ニ依リ許可ヲ經タルモノヲ變更セントスルトキハ官廳ノ許可ヲ經セシムコト

(四) 水利ニ關スル事項ニシテ重要ナリト認ムルモノ、處分ハ官廳ハ別ニ諮問機關ヲ設ケテ之ニ諮
 問ヲナシ其意見ヲ徵スルコト

諮問機關ハ官民ヨリ組織シ水利ニ關スル官廳ノ諮問ニ答ヘ又ハ意見ヲ具申スルコト

(五) 水路ノ新設ニ關シテハ土地收用法ノ設定アリト雖尙之カ收用ハ一層輕易簡便ナラシムルコト

長 野 縣

一 本縣ニ於ケル農業水利ニ關スル古來ヨリノ慣習及現在ノ狀態ヲ觀ルニ水利委員又ハ水利夫ヲ常置
 シ又ハ組合ヲ設ケ水ノ分配ヲ適當ニ施行スルモノハ其成績佳良ナルモ何等ノ設備ナク或ハ其ノ設備存
 スルモ之ヲ勵行セサルモノハ用水ノ分配不節制ニ流レ爭論ノ絶ユルナク又各分水ノ地點ニ完全ナル定
 量分水口ヲ有シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ水量ノ歩合ヲ規定セルモノニアリテハ然ラサルモノヨリ旱魃
 ニ際シテ爭論ヲ惹起スルコト尠ク又用排水路ノ組織完全ナルモノハ水ノ使用比較的公平ニ行ハル、モ
 所謂掛流シノ方法ニ依ルモノハ流末ニ於テ常ニ旱害ニ苦シム

農業水利ニ關シテハ古來ヨリ特殊ノ權利存在シ宜ンハ河川其ノ他水源ノ水量豐富ナルニ不拘同河川等ノ使用者ハ新ニ之レカ使用ヲ禁シ若シ之カ引水ヲナサントセハ多額ノ水利權買收費ヲ要シ爲ニ新開田ヲナス能ハサルモノ亦尠カラス

排水ヲ施行スルニ際シテ用水ト同シク常ニ隣接地ノ反對ヲ受ケ事業ノ進行ヲ阻止セラル、コト僅少ナラス

民法ノ規定ヲ按スルモ用水並ニ惡水ニ關スル條項ハ僅ニ數條ニ過キス他ハ殆ント舊慣ニ依ルヲ以テ頻々トシテ水利權ニ關スル訴訟提起セラル、ニ不拘法廷ニ於テ處決セラル、モノ甚々尠ク結局地方行政官又ハ名望家ノ調停ニ依リ和解示談トナルモノ多シ

依是觀之農業水利上ニ關シテ起ル爭論ハ主トシテ水ノ分配ノ不公平ニ基因スルコト大ナルヲ以テ全國ニ於ケル水利權ヲ國有トナシ農業水利法ヲ制定シ適當ナル分水方法ヲ定メ且餘剩水ノ存スル限リ水田ノ開發ヲ認容スルニ於テハ之レカ分配ノ公平ヲ期スルヲ得ルノミナラス容易ニ耕地擴張ノ實ヲ揚クルヲ得ヘシト信ス

福島縣

一 農業水利上ノ慣習トシテハ大略前記ノ如キモノニ過キサルモ要スルニ是等慣習ノ由來ハ相當ノ事

由ヲ有シ因襲久シク多ク年所ヲ經テ形成セラレタルモノナレハ不適當ト認ムル者ト雖モ種々ノ關係ニ於テ其改良ハ容易ノ業ニアラス縣ハ之ニ對シ相當ノ方策ヲ講シ耕地整理ノ施行、水利組合ノ組織又ハ紛議ノ解決等ニ力ヲ效シ舊慣打破ニ努メツ、アルモ旱害、水害等其他利害ノ緩和ハ單ニ慣習打破ニ由リテ行ハルヘキモノニアラス且ツ水利上ノ施設ハ直チニ稻作ノ死活ヲ制スルト共ニ其費用ト農業者トノ關係亦重大ナルヲ以テ慣習ノ根本的改良ハ寧ロ之ヲ一般水利ノ改良ニ附隨セシメ解決スルノ最モ便宜ナルヲ認ム而シテ近來漸次出現シ來レル農業水利ト工業水利トノ權利ノ衝突ニ關シテ殊ニ注意スヘキモノアリ權利所得ノ先後ニ就テハ異議ヲ挾ムヘキ餘地ナキモ共ニ所要水量以外ニ權利ヲ主張シ又ハ權利ヲ使用スヘキ業務ヲ實行セスシテ單ニ權利ニ依リ他ヲ阻害スルカ如キハ天與ノ水ヲ故意ニ無益ニ消費スルモノニシテ其罪蓋シ尠シトセス故ニ一般水利及是等惡例ヲ改善セムニハ相當ノ施設方法ヲ講セサルヘカラサルモ其利害關係ノ範圍頗ル廣大ナルヲ以テ縣ハ之ニ對シ目下調査講究中ニ屬シ未タ具體的考案ヲ有セス然レトモ現ニ事實ニ就テ公平ニ且ツ輕易ニ改善ノ歩ヲ促進シツ、アリ

富山縣

一 元來稻ハ深水ヲ好ム植物ニアラス只適當ノ濕潤ヲ與フレハ可ナルノミナラス却テ淺水ハ光線ノ透

過ヲ良クシ温度ヲ高メ稻ノ生育上極メテ必要ナル方法ニシテ收益ノ多キヲ致ス所以ナリ然ルニ本縣
ハ一般ニ其ノ湛水深キノ弊アリテ平均深サ一寸五六分以上ニ達シ甚シキハ三寸内外ニ及フモノアリ
斯クテハ稻ノ生育ヲ害シ引テハ收量上ニ及ホス影響モ亦少カラス故ニ湛水深ハ氣候、土質ニ依リ同
シカラサレトモ大概五分乃至一寸以内ヲ以テ適當ト認ムルニ付之カ矯正ノ方法ヲ講究シ湛水ノ深キ
ヲ改良スルコトノ必要ナルヲ以テ湛水ノ制限方ニ付勸誘中ナリ

如上ノ状態ナルヲ以テ自然用水量ノ多キヲ要シ水亂費ノ弊ヲ免カレサル有様ニシテ各用水路ハ灌
溉面積ニ比シ多クノ水量ヲ採入シ甚シキハ支配面積ニ比シ四五倍ノ採入量ヲ示シ一般ニ用水ヲ使用
スルコト過量ニシテ亂雜不經濟的ナリ殊ニ上流ニ採入口ヲ有スルモノハ下流ノモノニ比シ常ニ多ク
ノ水量ヲ引用シ爲メニ下流ニ於テハ常ニ用水ノ不足ヲ來ス等甲多乙少ノ弊ヲ來スニ依リ之等弊害ヲ
除去センニハ先ツ各用水路採入口ノ統一ヲ計リ採入水量ノ制限方法ヲ講シ且ツ各水路内部ニ於ケル
小口分水ノ舊慣ヲ打破シ適當ノ分水方法ヲ制定セラルヘカラサル事ノ必要ヲ認メ逐次改良スヘク目
下調査中ナリ

鳥 取 縣

一 第一項、第二項、第三項及第五項ノ實例ハ現在ノ状態ニ於テハ適當ト認ムレトモ最近ノ時運ト共

ニ山林伐採セラレ年次ニ水源枯渴セル傾キアリ往時ハ旱損ノ虞レナカリシ河川モ漸次流量減少シ輕
微ノ旱天ニモ用水缺乏ヲ告クルモノアリ之カ改善策ハ先ツ植林ヲ獎勵シテ水源ノ涵養ヲ計ラシメ一
面ニハ適當ノ位置ヲ選擇シテ之レニ貯水池ヲ築造セシメ以テ用水ノ供給ヲ潤澤ナラシムルカ如キハ
刻下ノ急務ナルヘシ又タ一面耕地整理ヲ實行セシメ用水ノ分配排水ヲ適當ナラシムル等ハ施設ノ急
ナルモノト思料ス

二 第四項ニ就テハ既ニ述ヘタル如ク開墾、地目變換ニヨリ水田ト爲シ得ルノ原野ニ對シテハ日下着
々調査ヲ遂ク現ニ東伯郡天神野ニ於テハ數ヶ町村ニ亘ル廣大ナル耕地整理組合ノ設立ヲ見ルニ至レ
リ尙現在開墾地目變換ヲ行ヒ用水ノ供給ヲ受クル能ハサル土地ニ對シテハ水源竝ニ流量ノ調査及貯
水池位置ノ選定ニ努メシメ之ヲ實行セシメントス

島 根 縣

一 縣下簸川及能義ノ兩郡ニハ本縣產米上最モ主要ナル田地ヲ包含スルニ大平原ヲ有ス而シテ此平原
ノ用水ハ主トシテ其ノ間ヲ縱斷スル數條ノ河川ニ用水ノ供給ヲ仰キ是等河川ニ設置セラレタル樋
管、堰塘等ニ關シテハ夫々規定ヲ設ケ部分的用水ノ分配ハ略適當ニ行ハレツ、アリト雖モ該河川ニ
通スル統括的水利上ノ組合ナク爲メニ動モスレハ上流ニ於テ用水ヲ壟斷セラレ若クハ上流ノ施設ニ

對シ下流ノ者カ妨害ヲ與ヘル等ノ患ナキニアラス尙河流分岐點ニ於ケル分水方法カ只從來ノ慣習ニ據ルノミナルヲ以テ夏時用水缺乏ノ場合ニ在リテハ往々爭論ヲ惹起シ甚シキニ至リテハ治安ヲ害スルコトナキニアラス故ニ是等ノ大河川ニ就テハ水利組合ヲ設ケシムルハ現下ニ於ケル救濟策トシテ唯一ノ方法タルヲ失ハス然リト雖モ現行法ニ依ル水利組合ハ其ノ設立、經營ニ繁雜ノ手數ヲ要スルノミナラス農業水利上ノ組合トシテハ不適當ノ廉少カラサルヲ以テ更ニ農業水利組合ニ適應スル法律ノ發布ヲ見ルニ於テハ之カ解決上利便少カラサルヘシト認ム要スルニ縣下ノ主要米作地タル上記兩郡ノ現狀ハ用水上相當ノ組合ヲ設立スルノ必要ニ迫ラレツ、アリ其ノ他ノ各郡ニ於ケル用水ハ細流及溜池ニ仰クヲ以テ特記スヘキ慣習モ稀ニシテ根本的改良ヲ要スルモノヲ認メス

岡山縣

一 甲第一項ノ二、三、四ニ掲ケタルカ如キ結果ヲ來セルハ井堰内ニ集注セル河水ハ全部其井堰掛ノ占有物ナル如キ觀念ノ下ニ多年ノ慣習ヲ形成シタルヨリ生セル弊害ナルヘキニ依リ勿論用水分與ニ關スル實費ニ對シテハ之ヲ支辯スルヲ當然トスルモ其他ノ費用ニ對シテハ之カ受授ヲ法律其他ノ方法ノ下ニ嚴重ニ取締ルト同時ニ旱歲ニ際シ用水ノ分配ヲ適當ニ行ヒ得ル如ク相當設備ノ改善ヲ要ス然レトモ如斯ハ主トシテ技術上ノ問題ニシテ假令至善ナル方法アリトスルモ多年ノ慣習ハ容易ニ

之ヲ實施セシムヘクモ非ス從テ是等實行ニ對シテモ法律上相當ノ制裁ヲ要スルヤ勿論ナリ

廣島縣

廣島市

一 本市ニ於テハ明治四十一年三月以來下水道ノ築造中ニシテ之カ完成ノ曉ハ從來ノ河川堰堤ニ依テ用水ヲ得ルコトハ下水道築造上支障アルヲ以テ到底不可能ト認ム故ニ下水道工事ノ完成セル東部ノ如キハ堰堤ニ代ユルニ灌溉用唧筒ノ設置ヲナシツ、アル狀況ナリ尙下水道布設未成ノ地區ニシテ從來堰堤ニ依テ用水ヲ得ツ、アル耕地ハ今後斯ノ如キ設備ヲ爲サ、レハ用水ノ缺乏ヲ來スヘシ且又從來單ニ用水路ヨリ受クル水ニ依リテ其用ヲ充タシ居リタル耕地モ下水道築造後ハ下水溝ニ於ケル排水口隨所ニ設ケラル、ヲ以テ其下域ニアル耕地ニ流下スル水量減少シ自然用水ノ缺乏ヲ來スコト、認メラル故ニ目下何レノ耕地ニモ灌溉用唧筒設置ノ必要ヲ認メ現ニ之カ勸誘中ナレハ近キ將來ニ於テハ其設置ヲ見ルヘキ豫定ナリ

沼隈郡

二 蘆田川ノ用水既得權ニ關シ川筋ニ於ケル從來ノ引用區域慣習アルニ拘ラス之ヲ變シテ擴大ナラシメ又ハ引用方法ヲ變更スルカ如キコトアラハ下流區域ニアルモノハ甚々迷惑ヲ感ス現ニ水呑村ノ如キ

ハ既得權區域ノ用水不足ヲ告ケ米作上損害ヲ受クル事屢々アリ是レ將來大ニ改善ヲ要スル點ナリトス

深安郡

三 郡内川口村ハ草戸村ノ餘水、法成寺村ハ服部池ノ餘水アルニアラサレハ分與ヲ受クル能ハス慣習上不適當ト認メラル、ニ付改良ヲ要ス

香川縣

一 本縣ニ於ケル耕地ハ五萬町歩之カ水源ハ概ネ二萬有餘ノ溜池ニ依リテ灌溉セリ

而シテ是等溜池ニ關スル前項ノ慣習ヲ來セル原因ハ畢竟用水ノ不足ト之カ配水法ノ不良ナルトニ基因スルモノニシテ今左ニ用水不足ノ原因竝之レカ根本的改良意見ヲ記述スヘシ

二 用水ノ不足セル原因

- (イ) 溜池築造當時ニ在リテハ灌溉面積ニ對シ豐富ナル貯水量ヲ有セシ溜池モ人口ノ増加ニ伴ヒ漸次耕作面積ノ増加ヲ來セシモ是カ水源ヲ新築造シ用水ヲ求ムルコト稀ニシテ隣接田ニ灌溉セル溜池ニ對シ加入料又ハ水上料ト稱シ一反歩三十圓乃至六十圓ヲ地掛總代ニ支拂ヒテ水利權ヲ得ルノ一般慣習アリ爲メニ灌溉面積ニ對スル反當水量ハ漸次減少シテ一朝旱天ニ際會セハ用水不足ヲ訴ヘ延ヒテ水掛論ヲ醸スルニ至リ茲ニ惡慣習ヲ生スルニ至ルモノナリ

- (ロ) 農作物栽培種類ノ變動ハ用水不足ニ多大ノ關係ヲ有ス即チ十數年前迄ハ鹽、綿、砂糖ヲ以テ讃岐三白ト稱シ盛ニ之カ栽培製造ニ從事シ來リシモ砂糖、綿ハ外國產ノ壓倒ヲ受ケ現今之カ栽培面積前者ハ絶無後者モ亦非常ナル減少ヲ見昔日ノ面影ヲ認メス、是等栽培地ハ變シテ水田トナリ稻作ヲナスニ至リタルヲ以テ從來ニ比シ多大ノ水量ヲ要スルニ至リタルニ之カ不足水量ニ對スル溜池ノ新築又ハ擴築ヲナサ、ルヲ以テ用水不足ヲ來スコト當然ナリ

- (ハ) 本縣ニ於ケル母岩ハ概ネ花崗岩ニシテ之カ山林ノ濫伐ハ水源ヲ涸渴セシムルノミナラス池内ニ土砂ヲ堆積シテ貯水量ノ減少ヲ來セルコト頗ル多大ニシテ之カ爲メ下流ニ於ケル耕地ハ充分ナル用水ヲ得ル能ハス一朝旱天ニ際會セハ上下流民ノ水論忽チニ起リ地方有志ハ爲メニ調停ニ困難シ茲ニ惡慣習ヲ生スルニ至ルナリ

以上ノ如ク用水不足ハ前述ノ三大原因ニ依ルモノニシテ灌溉耕地ニ對シ充分ナル水量ヲ有スル溜池ヲ得ル爲メ之カ新設ヲ成シ又ハ既設溜池ニ就テハ増築或ハ擴築ヲナシ一面山林ノ濫伐ヲ防キ尙砂防工事ヲ施行シ池内ノ土砂堆積ヲ防止シテ充分ナル水量ヲ得ルニ非ラサレハ如何ナル方法ニテモ根本的惡慣行ヲ打破スルコト能ハス

三 配水ノ改良

- (イ) 池掛總代ハ配水ニ關シ地方長官又ハ郡長ノ指揮ヲ受クルコト

從來配水ニ關スル事項ハ池掛總代ト稱スルモノニ依リテ支配セラル而シテ總代ハ大底上流ノ土地ノ所有者之ヲ司ルタメニ旱害ニ際シ配水ニ就キ頗ル不公平ノ處置ヲ成シ常ニ上流ハ用水豊裕ナルモ下流ハ旱害ニ苦ム事毎歲ナリ故ニ斯卡、ル重大ナル責務ヲ有スル總代ハ公平無私ナル人物ヲ選ハサルヘカラサルモ旱魃ノ時ハ公平ナル人ト雖大勢ニ壓セラレテ自己ノ意思ノ如ク實行スル能ハサルヲ以テ總代ノ處置ハ之ヲ郡長、又ハ地方長官ノ指揮ニ仰キ決行スヘキ様制定セシムルコト

(ロ) 灌溉ハ下流ヨリ漸次上流ニ及ホスコト

從來ノ配水ハ一般ニ上流ヨリ下流ニ及ホセシヲ以テ常ニ上流ハ用水潤澤ニシテ下流ハ旱害ヲ蒙ルノ常態トナレリ之上流ヨリ灌溉スルヲ以テ灌溉面積廣大ナル時ハ水路ノ屈曲、井堰等ノ障害ヲ蒙リ下流ハ充分ナル水量ヲ一定時間内ニ導水スル能ハス爲メニ插秧時ヲ失シ旱天ニ際シ旱害ヲ受クルコト稀ナラス故ニ相當監視人ヲ附シテ下流ヨリ灌溉スル時ハ上下流一樣公平ニ灌溉スルコトヲ得ヘシ

又從來ノ配水ヲナス場合ハ少量ノ用水ヲ漸次ニ灌溉スルヲ以テ上流ハ常ニ灌溉スル事容易ナルモ下流迄用水到達セス爲メニ旱害ヲ受クルコト少カラス故ニ前法ニ依ラスシテ一時ニ多大ノ水量ヲ放流スル時ハ下流ニ達スル事容易ナルヲ以テ上下流平等ニ灌水スルヲ得ヘシ

(ハ) 舊面積ニ依ラスシテ實測面積ニ依ルコト

從來配水ヲナス水量ノ標準ハ舊藩主ニ上納スル石高ニ比例シテ部落別ニ分岐堰ニ依リテ配水セリ然シテ其ノ上納石高ト實測反別トハ非常ナル差アリテ全然一致セス故ニ用水分配ニ際シ非常ノ不公平ヲ來シ甲耕地ハ用水ニ剩餘ヲ來セルモ乙耕地ハ旱害ヲ蒙リ稻作ノ枯死スルノ慘狀ヲ呈シ而モ溜池ニハ貯水充分ナルニ之ヲ灌溉スル能ハサル惡慣習存セリ斯カル箇所ハ臺帳面積又ハ實測面積ニ比例シテ配水ノ標準ヲ定ムルヲ急務トス

(ニ) 配水標準ニ用フル分岐堰ヲ石製ニ改メ確實ニ維持管理スルコト

從來ノ分岐堰(分岐堰トハ用水ヲ分配スルニ灌溉面積等ニ比例シテ斷面積ヲ作レル木製又ハ石製ノ配水堰ナリ)ヲ見ルニ稀ニ石製ナルモ多クハ木製ヲ以テセリ木製ハ腐朽シ易キタメ斷面積ニ變動ヲ來シ紛擾ノ原因ヲナスヲ以テ凡テ現在ノ分岐堰ヲ石製トナシ確實ニ維持管理ヲナスヲ可トス

四 地方水利會議員ノ設置ヲナスコト

從來配水其ノ他水利ニ關スル慣行ニシテ頗ル不公平ナルモノアルカ爲メニ旱害ニ際シ之カ訴訟ヲ企ツル場合ハ舊慣行ヲ尊重シ多ク惡慣行ヲ打破スル能ハス爲メニ土地ノ利用、増進ヲ計ル點ニ就キ頗ル困難ヲ感スルコト多シ斯ル惡慣行其ノ他ニ就キ紛擾ヲ來セル時ハ訴訟ヨリ以外ニ地方有志及監督官吏ヲ以テ組織セル地方水利會ヲ組織シ水利會議ノ議決ニ依リ解決スル様取計フ時ハ斯カル惡慣行ヲ打破シ有利ニ溜池ヲ利用スルニ至ルヲ得ヘケン

愛媛縣

一 水利ニ關スル法律ヲ設ケテ取締ルヲ可トス

說明

地方ニ於ケル水利慣行ハ實ニ區々ニシテ不適當ナル實例ハ到ル所ニ之アル状態ナリ而シテ之カ改善法タルヤ徳義等ヲ以テ改善セントスルモ到底實行困難ナルカ故法律ニヨリ強制的ニ改善スルニ若クハナシ尤モ耕地整理ハ其ノ一方法タリト雖モ耕地整理ハ如何ナル土地ニモ速ニ普及スル能ハサル事情アルヲ以テ水利改善ニ關シテハ法律ニ依リテ之ヲ規定スルヲ良策ナリトス

福岡縣

一 管内各郡ニ於ケル農業水利上ニ關スル重要ナル慣習ハ前數項ニ掲クル如ク各地方ニ依リ多少趣ヲ異ニスト雖要スルニ用水ノ上流ニ位置スルモノハ灌漑上優越ノ地位ヲ占ムルヲ以テ動モスレハ横暴ニ流レ下流ニ位置スルモノ、水利權ヲ侵害スル傾向ヲ見ルハ管内各地方ヲ通スル弊風ナリ然ルニ水利問題ハ其根底深ク他ノ地方問題ト複雑ナル關係ヲ有シ猥リニ容喙ヲ試ムルニ於テハ却テ問題ヲ紛糾セシメ收拾スヘカラサル状態ヲ醸シ易キヲ以テ水利慣習ノ根本改善ノ必要ヲ感スルモ未タ適當ナル方法ヲ認メス

大正六年二月十四日印刷
大正六年二月十七日發行

農商務省農務局

東京市京橋區北横町九番地

印刷者 西 協 嘉 市

東京市京橋區北横町八番地

印刷所 一 成 社

電話京橋八一三番

326

236

終